

# 18歳意識調査

## 「第54回 -国会と政治家-」

### 報告書

日本財団 2023年2月28日

# 目次

調査概要	3
結果概要	4
報告書中の集計方法について	5
1. 現在の政治・国会に対する関心・印象	6
今の日本の政治に対する関心/その理由	7
今の日本の政治に対する印象	10
今の日本の機関に対する信頼感	12
2. 政治・国会に関する情報収集	14
情報の収集頻度・収集手段	15
国会中継の視聴経験・直近の国会内容（第210回臨時国会）の認知度	17
3. 国会の現状に対する意見	19
国会が有意義な政策論議の場となっているかに対する意見	20
国会が若者の意見が取り入れられやすい場となっているかに対する意見	23
国会議員の定数/国会の会期に対する意見	26
特に国会において議論されるべき分野	28
4. 国会議員に対する意見	29
国会議員に対する印象	30
女性議員の比率、議員の高齢多選、世襲、給与に対する意見	32
5. 政治・国会を改善する方法	36
国会を現在よりもよく機能させるために必要なこと	37
若い人たちが政治や国会に関心を持つために必要なこと	39
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感	40
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析	45
示唆	56

# 調査概要「18歳意識調査」 -国会と政治家-

## 調査対象

全国の17歳～19歳男女

## 回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男性	168	170	176	514
女性	159	160	167	486
計	327	330	343	1,000

## 実施期間

2023年1月27日（金）～2月1日（水）

## 調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

注記3：各頁のメッセージにおいて、数値に結果に言及する際は、%表示の小数点以下は四捨五入し、整数で記載している。

注記4：その他の自由回答については、全体の1.5%以上が回答した場合のみ掲載している。

# 第54回18歳意識調査「-国会と政治家-」

## 結果概要

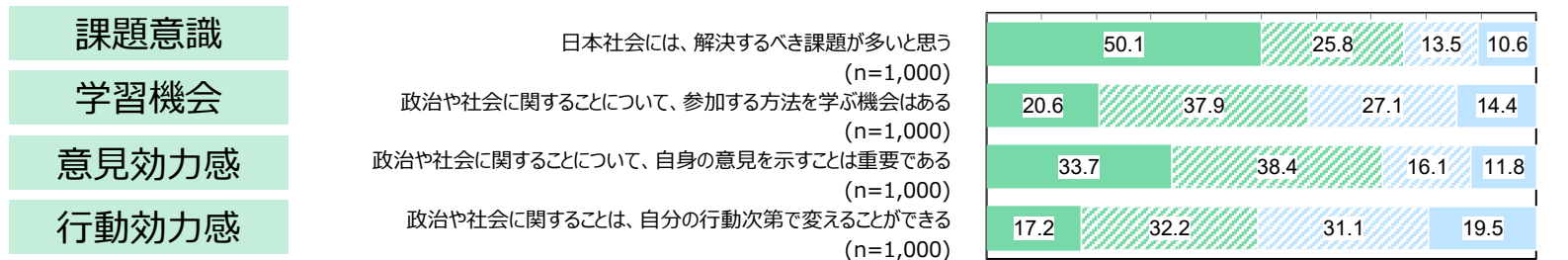
1	政治に対する関心	<ul style="list-style-type: none"><li>① 全体の過半数が政治について関心がある又はやや関心があると回答している。</li><li>② 政治に関心がある理由として、「自分の現在または将来に関係のあることだから」、「18歳から有権者として、投票に行くから」といった回答が上位に挙げられた。</li></ul>
2	政治に対する印象	<ul style="list-style-type: none"><li>① 今の日本の政治に対する印象について、約7割以上の回答者が否定的な印象を持つという回答結果であった。</li><li>② 政治に関わる機関について、過半数が「信頼していない」と回答した。</li></ul>
3	国会に対する印象	<ul style="list-style-type: none"><li>① 現状の国会について、議論に参加していない議員の存在などを理由に、全体の52%が有意義な政策論議の場となっていると思わないと回答した。</li><li>② 議員の高齢化や若者の投票率の低さなどを理由に、全体の65%が国会を若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思わないと回答した。</li></ul>
4	政治家に対する印象	<ul style="list-style-type: none"><li>① 国会議員について、「特権や優遇を多く受けている」や「他の政治家の批判や自己保身のために時間を費やしている」といった印象を持つと回答した割合は、5割から6割程度であった。</li><li>② 全体の約5割が、議員の高齢多選、国会議員の世襲を問題であると感じていた。</li></ul>
5	政治をよりよく機能させる方法	<ul style="list-style-type: none"><li>① 国会をよりよく機能させる方法として、「より多くの若手議員の選出」、「インターネットなどにおいて、国民の意見を表明すること」、「投票率の上昇によって、国民の意見を表明すること」が多く挙げられた。</li></ul>
6	デジタル技術活用への期待	<ul style="list-style-type: none"><li>① 若者が政治や国会に関心を持つようになる方法として、「投票がスマートフォンやパソコンでできるようになること」、「若者向けの政治や国会に関するメディア記事及びSNS記事が増えること」などが挙げられていた。</li></ul>
7	回答者の属性の違いによる差異	<ul style="list-style-type: none"><li>① 男性よりも女性の方が、政治への関心が高い傾向にあった。</li><li>② 社会課題解決や政治意見表明のための活動を行ったことがある者は、そうでない者よりも政治に期待をしている傾向や政治家に「身近である」という印象を持っている傾向にあった。</li></ul>

※本頁では質問や選択肢に関する表現を一部簡素化しています。詳細は各設問の結果詳細ページをご覧ください。

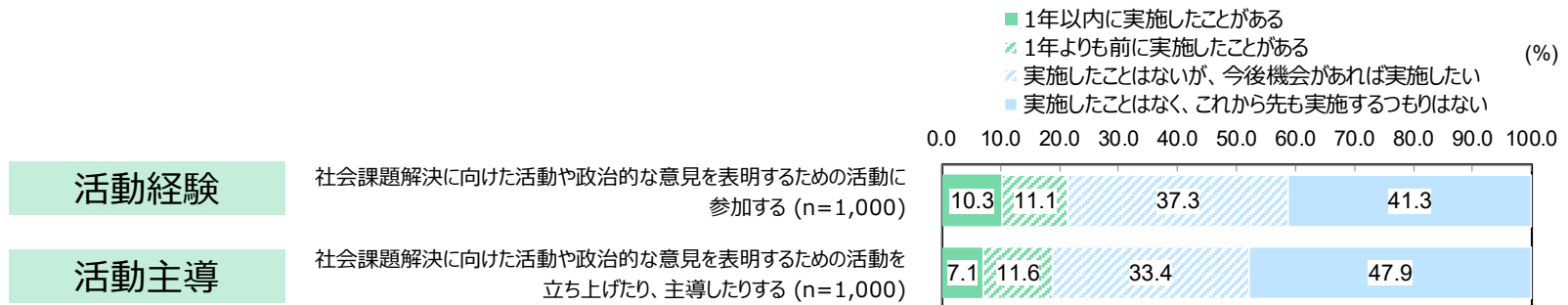
# 報告書中の集計方法について

- 本調査では、社会課題に対する意識や政治に関する知識、政治的自己効力感による、政治に対する考え方の違いを分析するため、「政治や社会課題に対する考え方（質問23）」及び「社会課題解決等に向けた行動や経験の有無（質問24）」の各項目の回答内容別に、集計を行った。（詳細「7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析」を参照。）
- 質問23と質問24の結果は以下のとおり。各項目は、それぞれ「課題意識」、「学習機会」、「意見効力感」、「行動効力感」、「活動経験」、「活動主導」と記す。

質問23：政治や社会課題に関するあなたの考えに近いものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）



質問24：以下の経験の有無について、あてはまるものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）



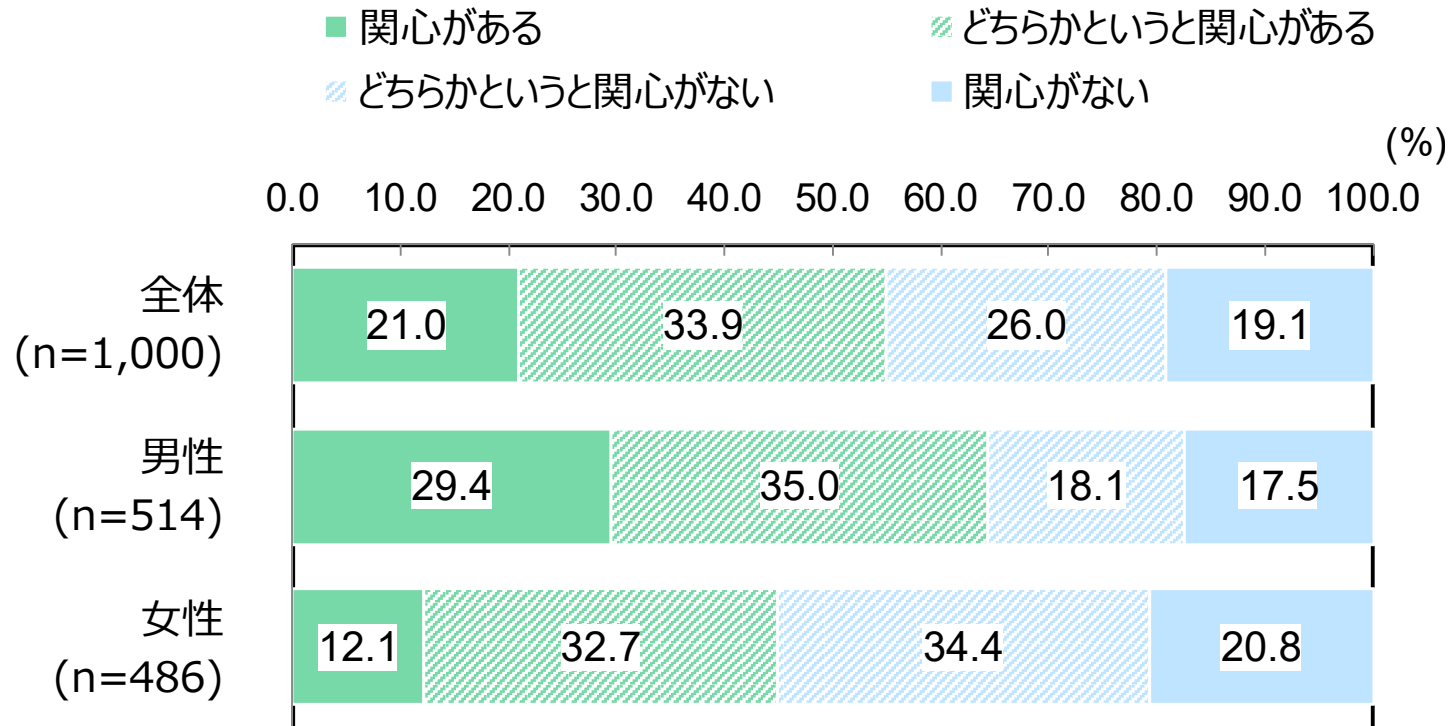
# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

# 現在の政治・国会に対する関心・印象

今の日本の政治について、全体の過半数が、「関心がある」又は「どちらかというに関心がある」と回答した。男性の方が女性よりも、政治に「関心がある」と回答した割合が高い。

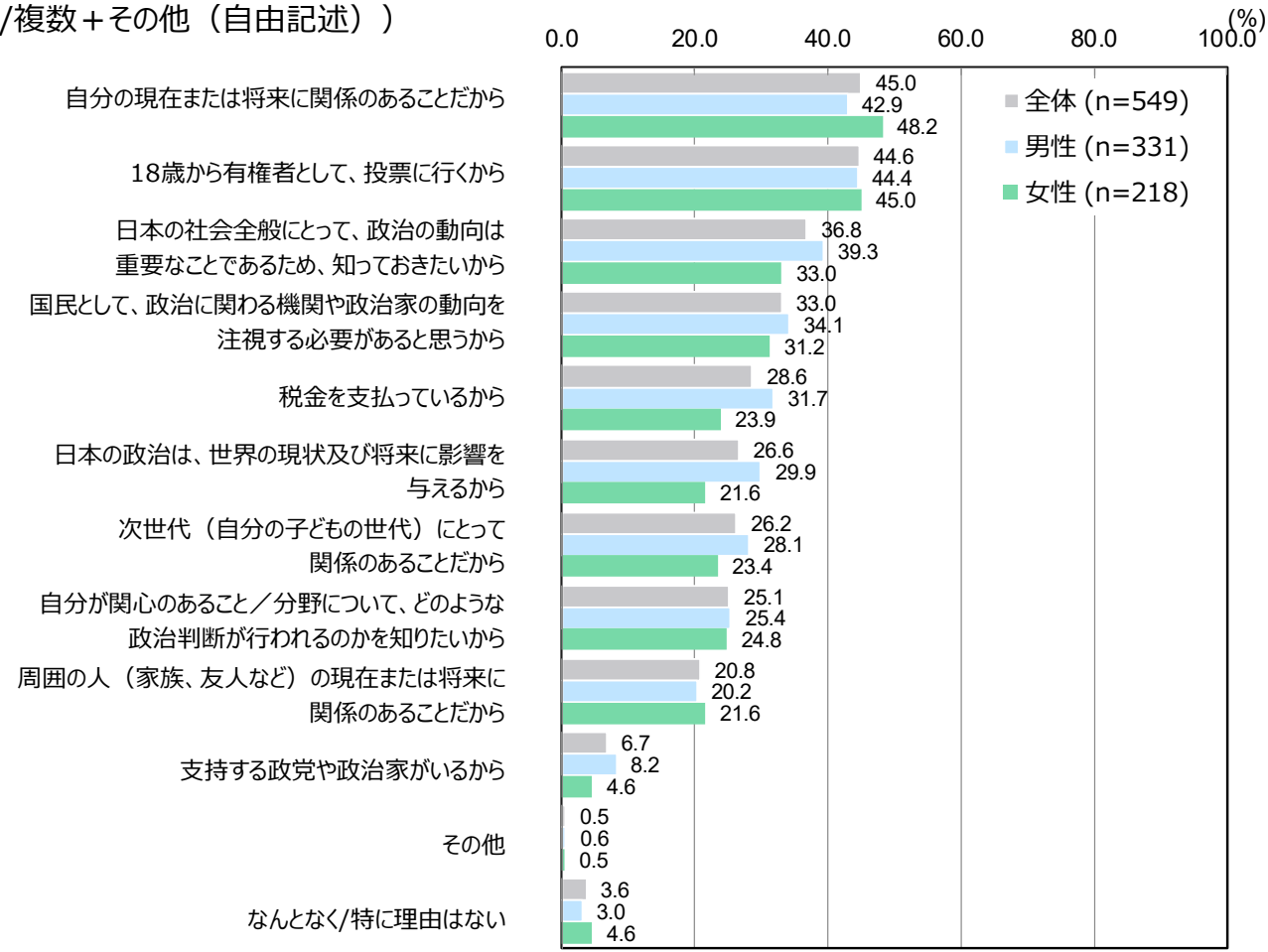
質問1：あなたは今の日本の政治について、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））



# 現在の政治・国会に対する関心・印象

政治に関心がある理由として、「自分の現在または将来に関係のあることだから」、「18歳から有権者として、投票に行くから」、「日本の社会全般にとって、政治の動向は重要なことであるため、知っておきたいから」が上位に挙がった。

質問2-1：前問で、「関心がある」「どちらかというに関心がある」とお答えになった理由を教えてください。  
 (選択式/複数+その他(自由記述))



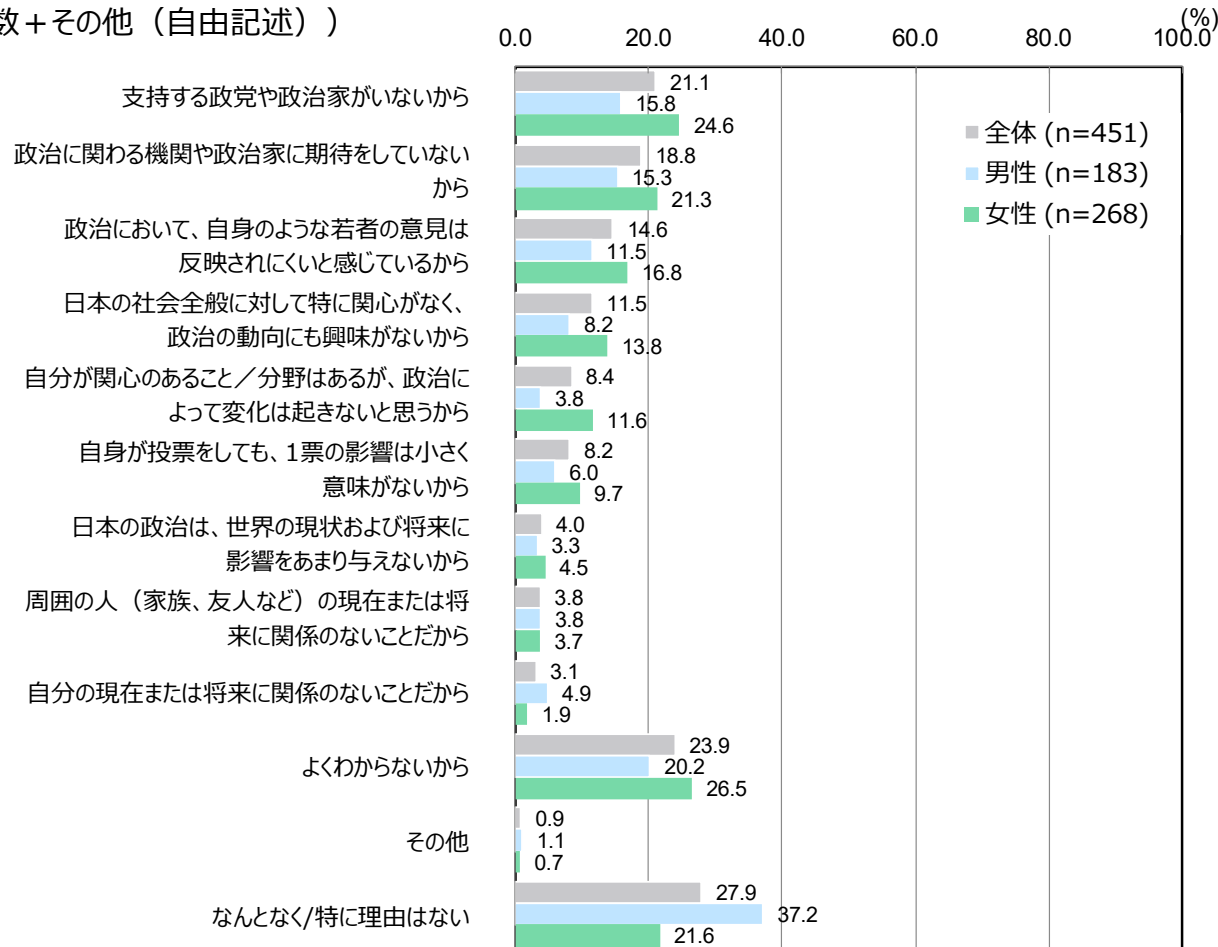
※「全体」の降順で掲載。



# 現在の政治・国会に対する関心・印象

政治に関心がない理由として、女性では「よくわからないから」、男性では「なんとなく/特に理由はない」が最も多かった。具体的な理由としては、「支持する政党や政治家がないから」、「政治に関わる機関や政治家に期待をしていないから」が上位に挙がった。

質問2-2：前問で、「どちらかというに関心がない」「関心がない」とお答えになった理由を教えてください。  
 (選択式/複数+その他(自由記述))



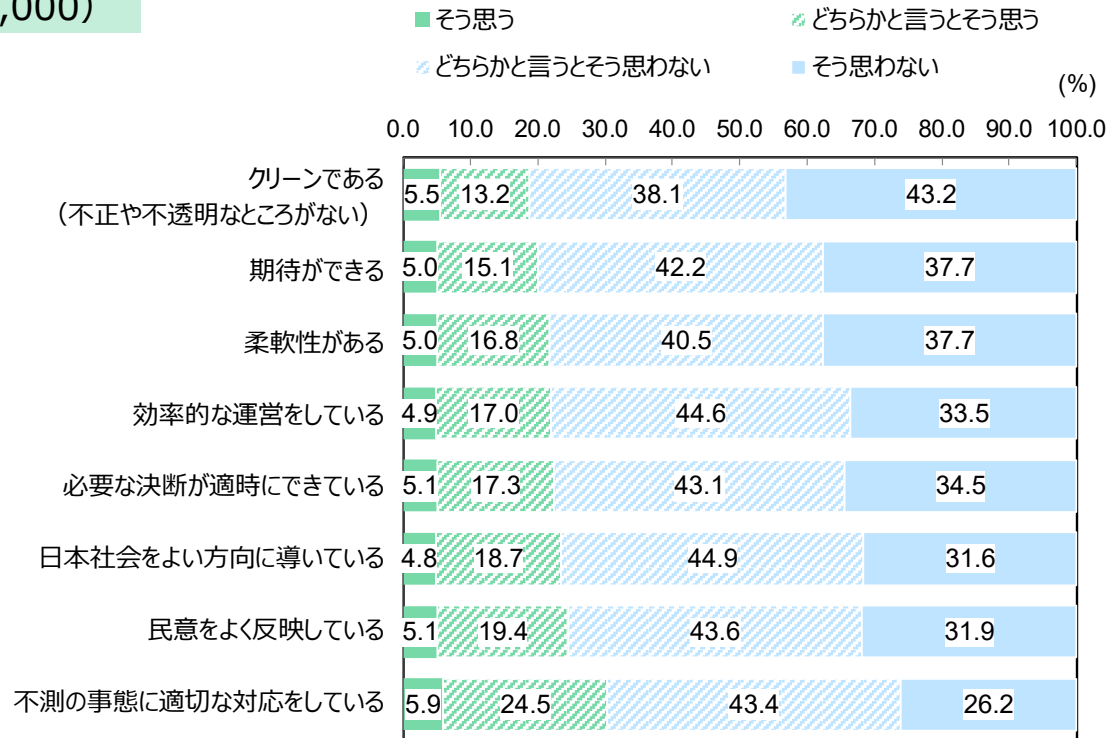
※「全体」の降順で掲載。

# 現在の政治・国会に対する関心・印象

今の日本の政治に対する印象について、全ての項目について約7割以上の回答者が否定的な印象を持つという回答結果（※）であった。※「どちらかと言うとそう思わない」、「そう思わない」の合計。

質問3：あなたは、今の日本の政治について、どのような印象を持っていますか。以下の中からそれぞれあてはまるものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

全体（n=1,000）

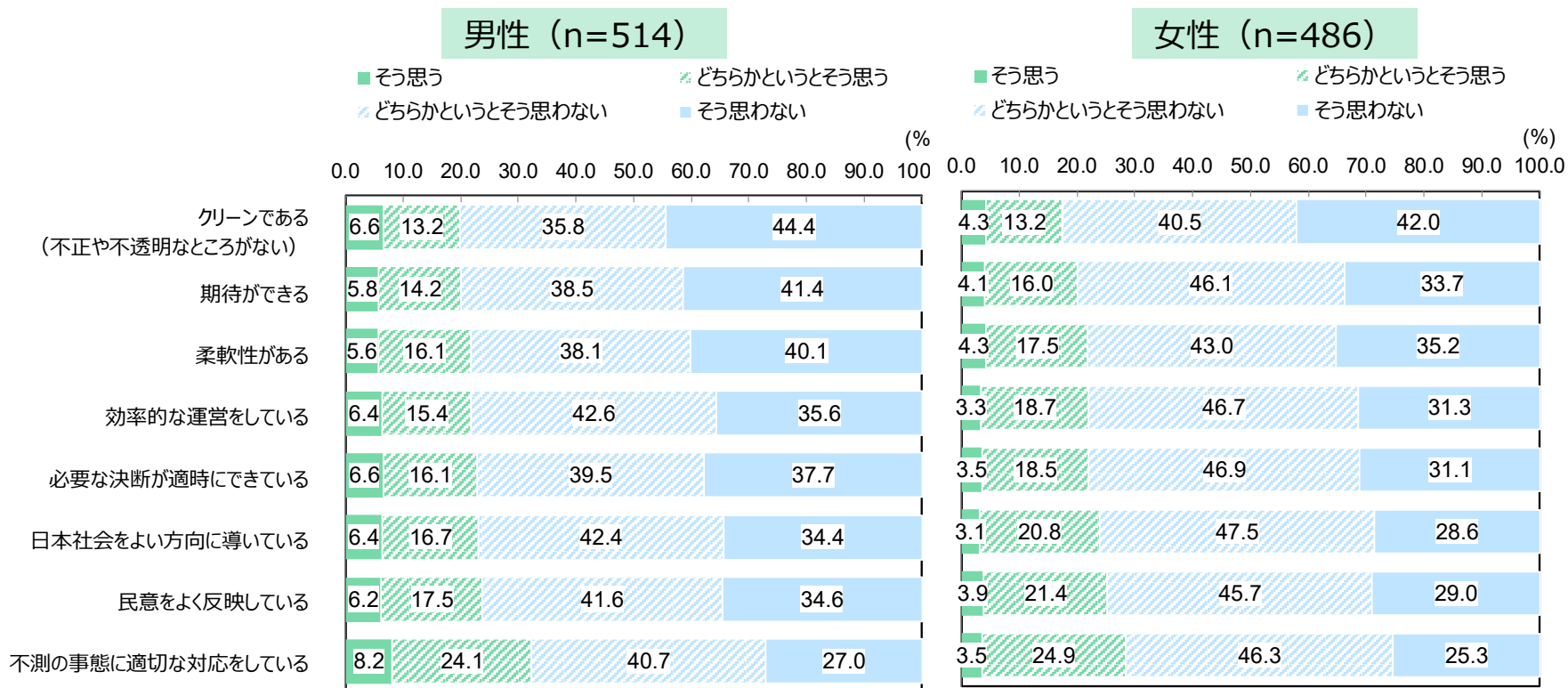


※「どちらかと言うとそう思わない」と「そう思わない」の合計値の降順で掲載。

# 現在の政治・国会に対する関心・印象

今の日本の政治に対する印象に、性別による大きな差はない。

質問3：あなたは、今の日本の政治について、どのような印象を持っていますか。以下の中からそれぞれあてはまるものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）



※全体の「どちらかと言うとそう思わない」と「そう思わない」の合計値の降順で掲載。

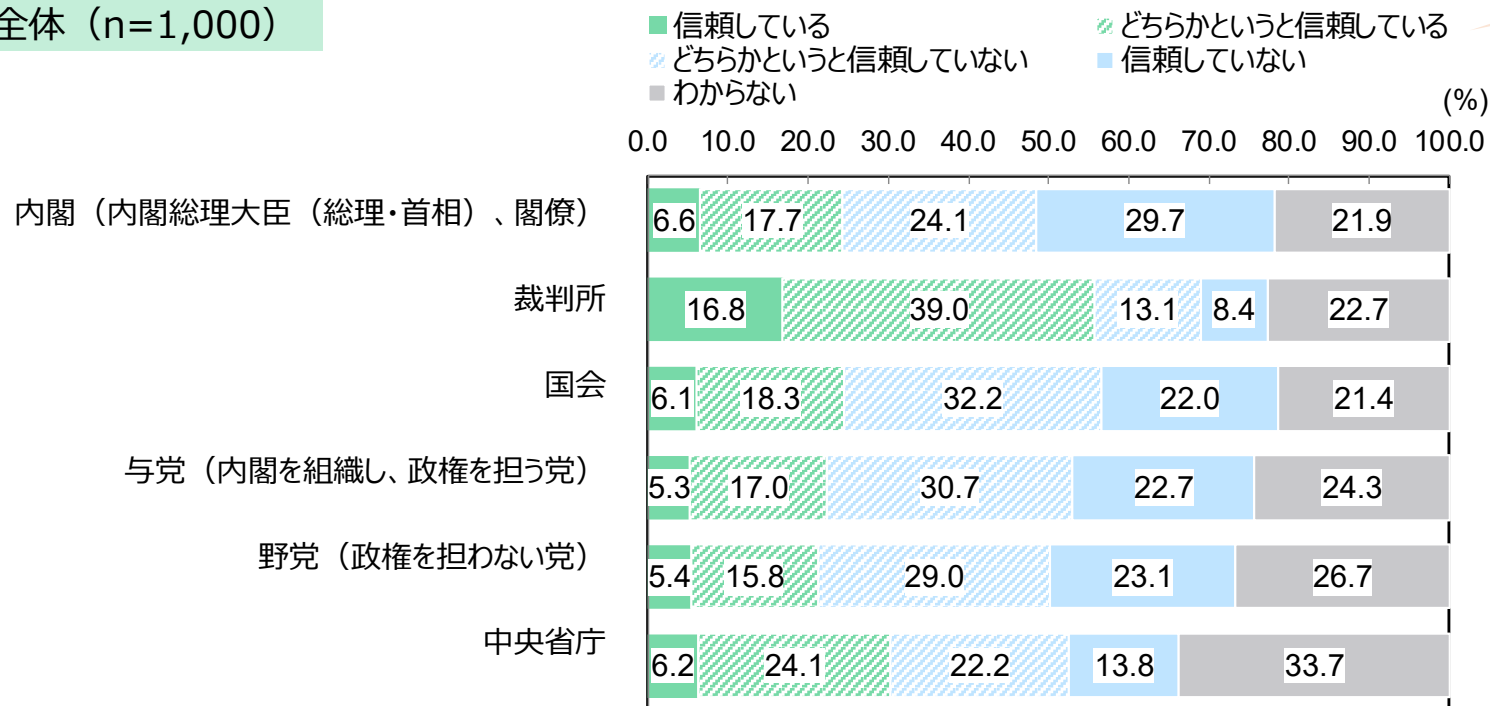
# 現在の政治・国会に対する関心・印象

以下の機関のうち、最も信頼されている機関は、裁判所で56%（※1）であった。内閣、国会、与党、野党については、過半数（※2）が信頼していないという回答であった。

※1「信頼している」、「どちらかという信頼している」の合計。※2「どちらかという信頼していない」、「信頼していない」の合計。

質問4. あなたは、今の日本の以下の機関について、どの程度信頼していますか。（一つの項目について一つずつ選択）

全体（n=1,000）



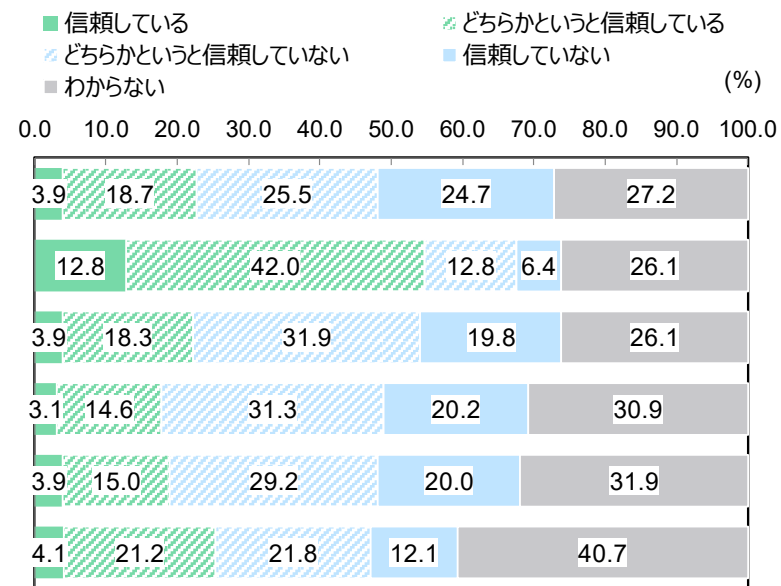
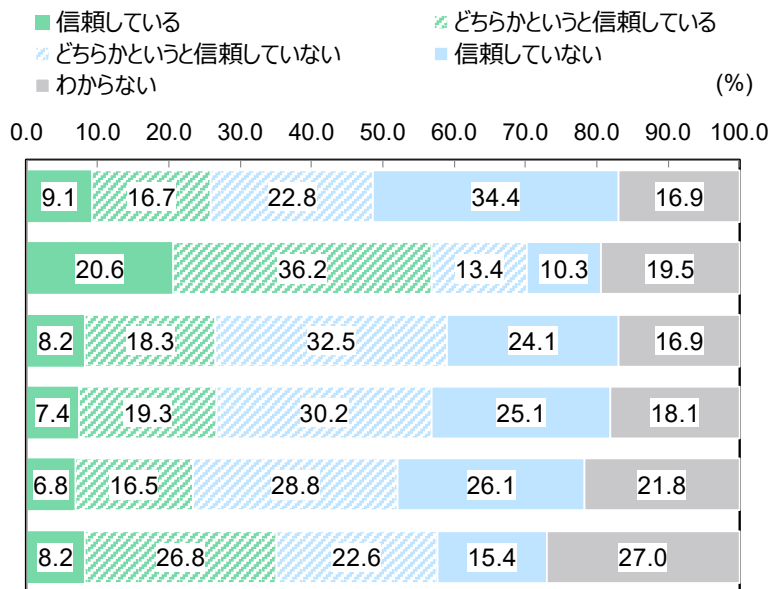
# 現在の政治・国会に対する関心・印象

以下の機関を信頼しているかという質問について、男性よりも女性の方が、「わからない」と回答していた割合がやや高い。

質問4. あなたは、今の日本の以下の機関について、どの程度信頼していますか。（一つの項目について一つずつ選択）

男性 (n=514)

女性 (n=486)



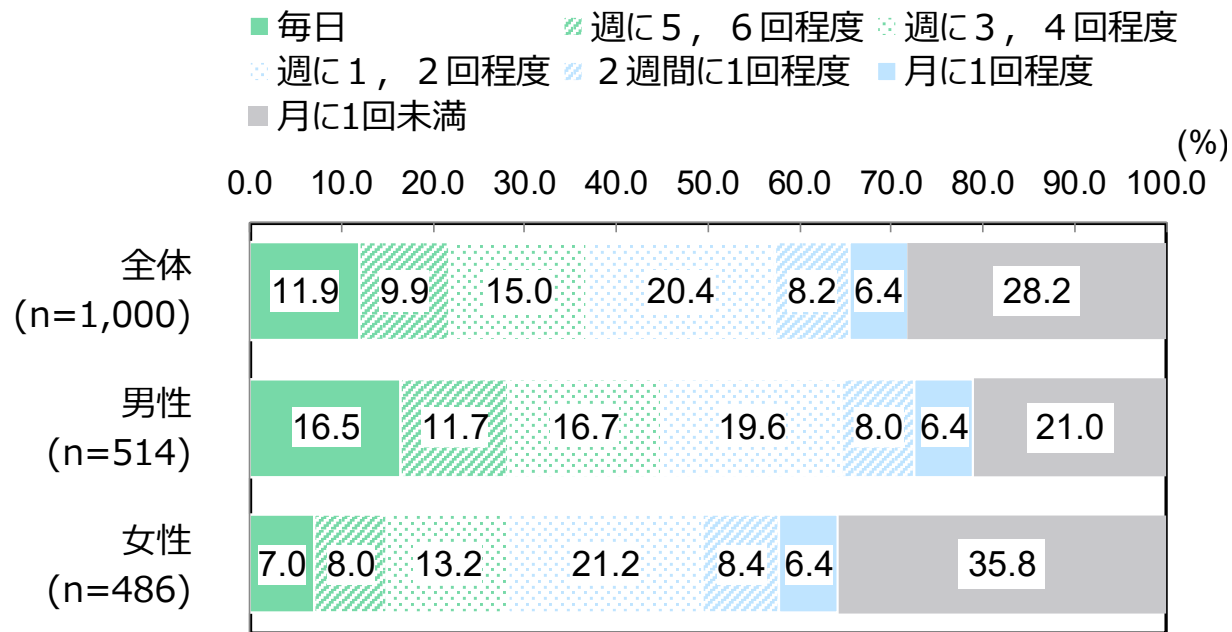
# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

# 政治・国会に関する情報収集

週に3, 4回程度以上政治に関する情報を入手している者は、全体の約4割である。  
男性の方が女性より、週に3, 4回程度以上情報収集をしている割合が高い。

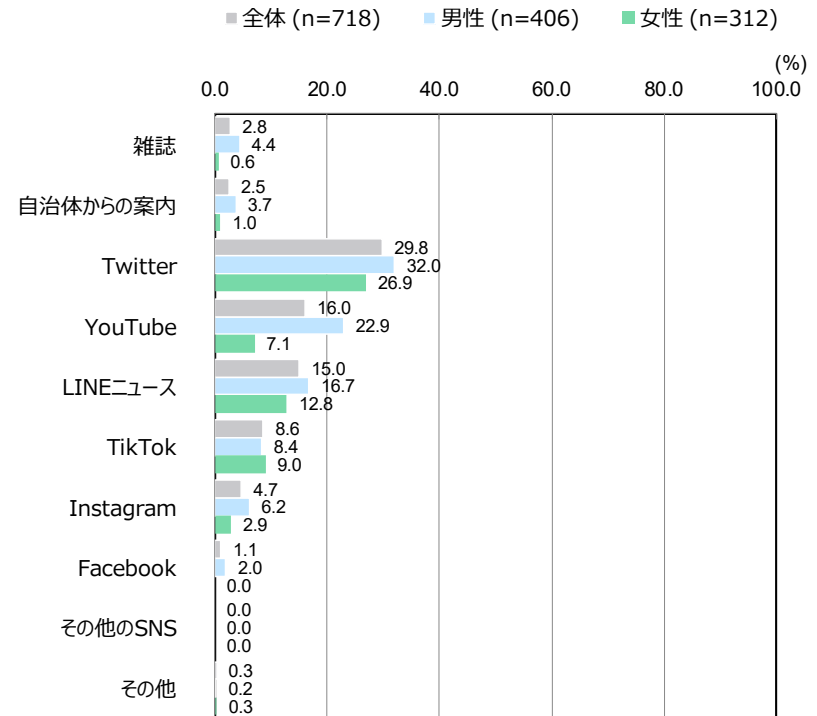
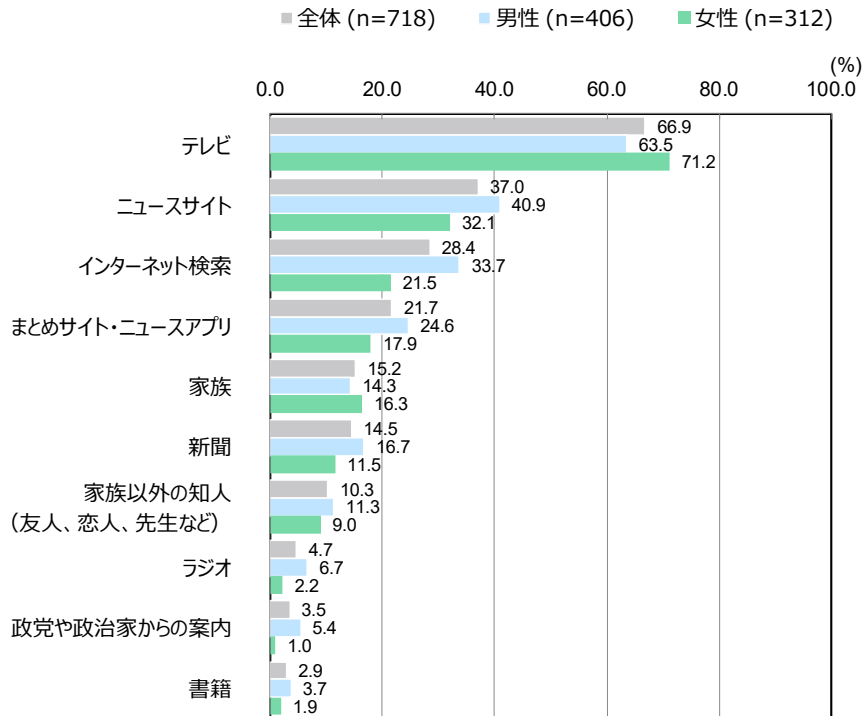
質問5：あなたは、普段どの程度の頻度で政治に関する情報を入手しますか。（選択式/単一）



# 現在の政治・国会に対する関心・印象

月1回程度以上政治に関する情報を収集している者のうち、テレビから情報を得ている者は約7割、ニュースサイトから情報を得ている者は約4割、Twitterやインターネット検索から得ている者は約3割であった。

質問6：あなたは、政治に関する情報をどこから入手しますか。（選択式/複数+自由記述式、（前問で「月に1回未満ほとんど入手しない」を選択した人以外））



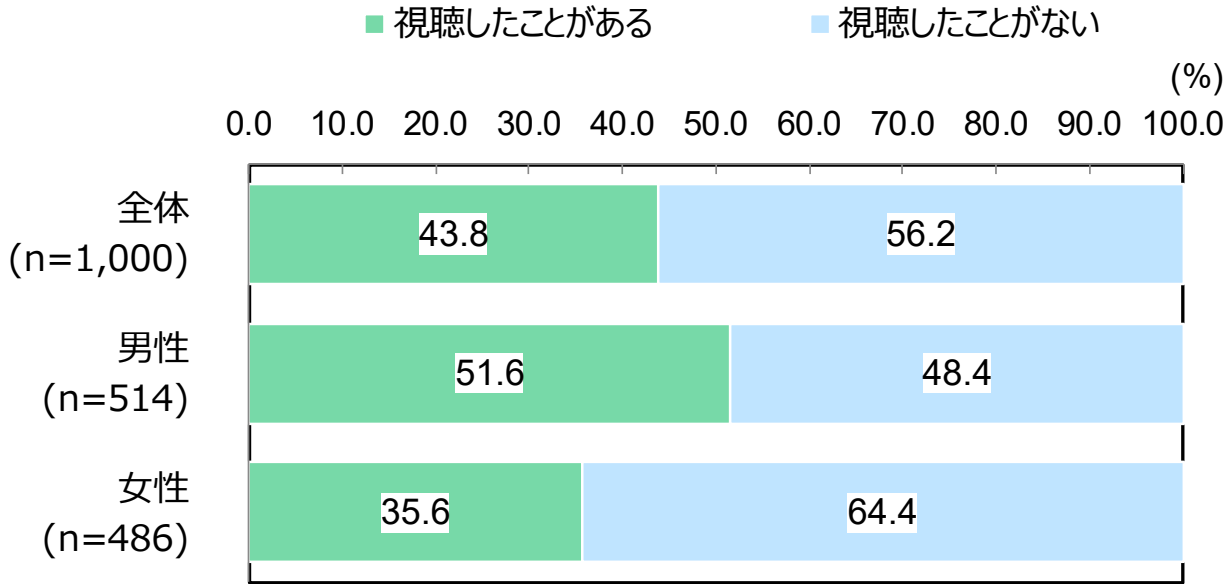
※「全体」の降順で掲載。



# 現在の政治・国会に対する関心・印象

男性のうち約半数、女性のうち約4割が、国会中継の視聴経験があった。

質問7：国会中継をテレビもしくはインターネットで視聴したことがありますか。（選択式/単一）

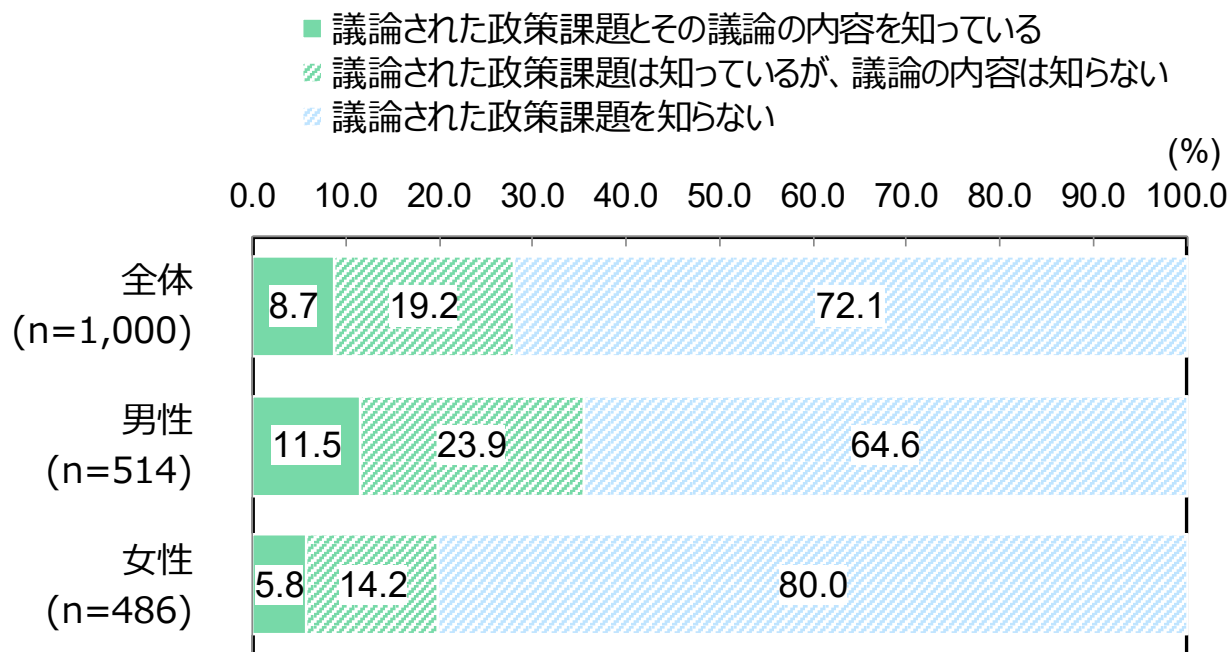


# 現在の政治・国会に対する関心・印象

直近の国会で議論された政策課題を知っている者<sup>(※)</sup>は約3割であり、議論の内容を知っている者は約1割であった。男性の方が、女性と比べて議論された政策課題を知っている者<sup>(※)</sup>の割合が高かった。

※「議論された政策課題とその議論の内容を知っている」、「議論された政策課題は知っているが、議論の内容は知らない」の合計。

質問8：あなたは、第210回の臨時国会（令和4年10月3日～令和4年12月10日）でどのようなことが議論されていたか知っていますか。（選択式/単一）



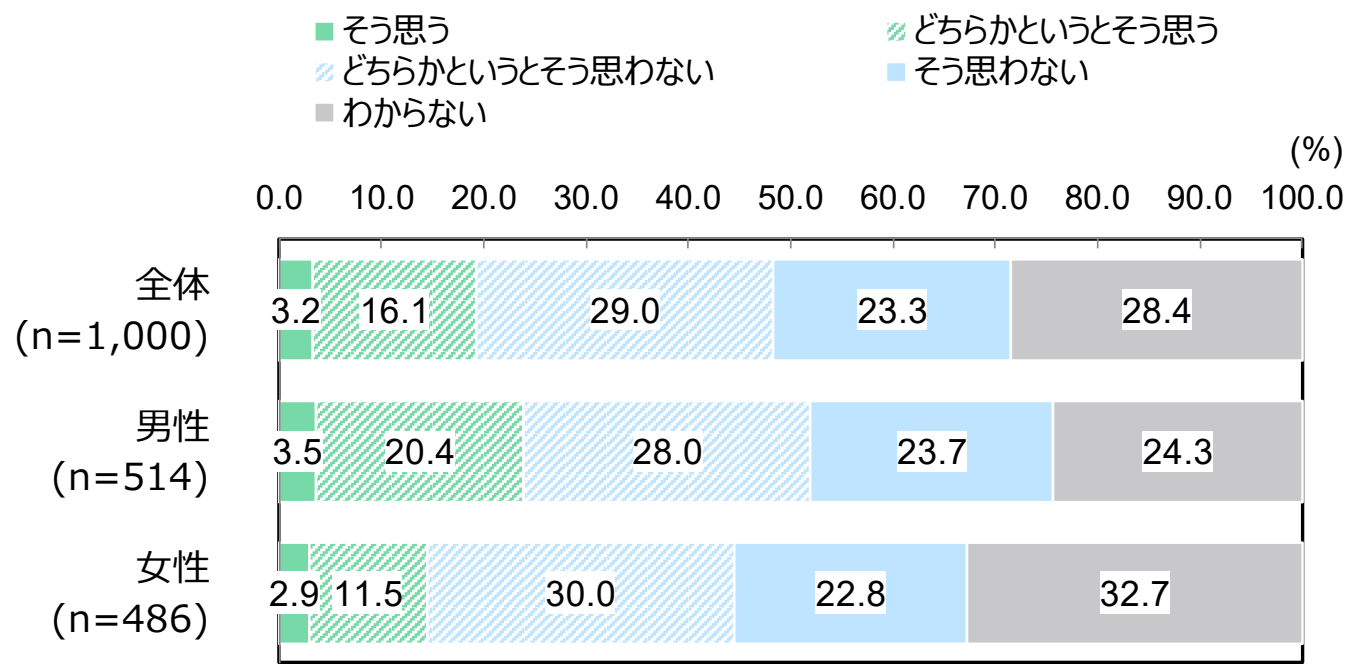
# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

# 国会の現状に対する意見

現状の国会が、有意義な政策の場になっていると思わない者の割合（※）は、全体で52%であった。有意義な政策の場になっているか「わからない」と回答した者は、男性よりも女性の方が、やや高かった。  
 ※「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計。

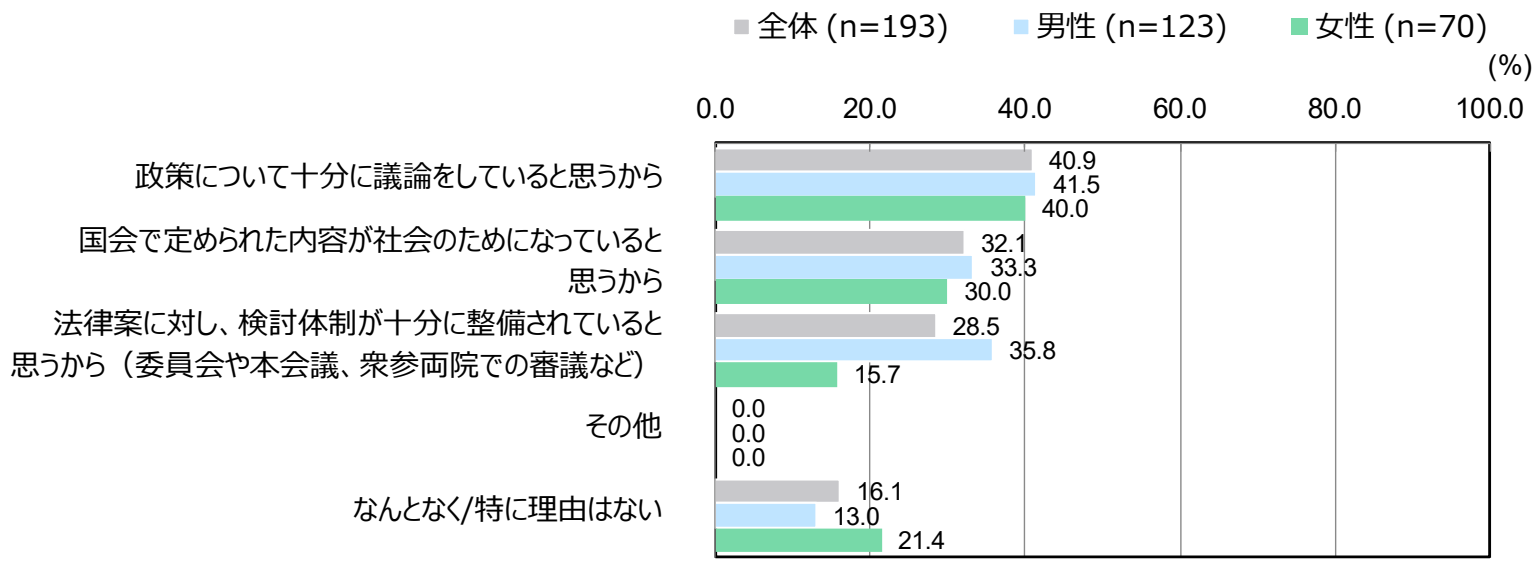
質問9：現状の国会は、有意義な政策論議の場となっていると思いますか。（選択式/単一）



# 国会の現状に対する意見

現状の国会は、有意義な政策論議の場となっていると思う理由として、「政策について十分に議論していると思うから」、「国会で定められた内容が社会のためになっているから」などが挙げた。男性は、「法律案に対し、検討体制が十分に整備されていると思うから」も多く理由に挙げていた。

質問10-1：前問で「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた理由を教えてください。（選択式/複数+その他（自由記述））

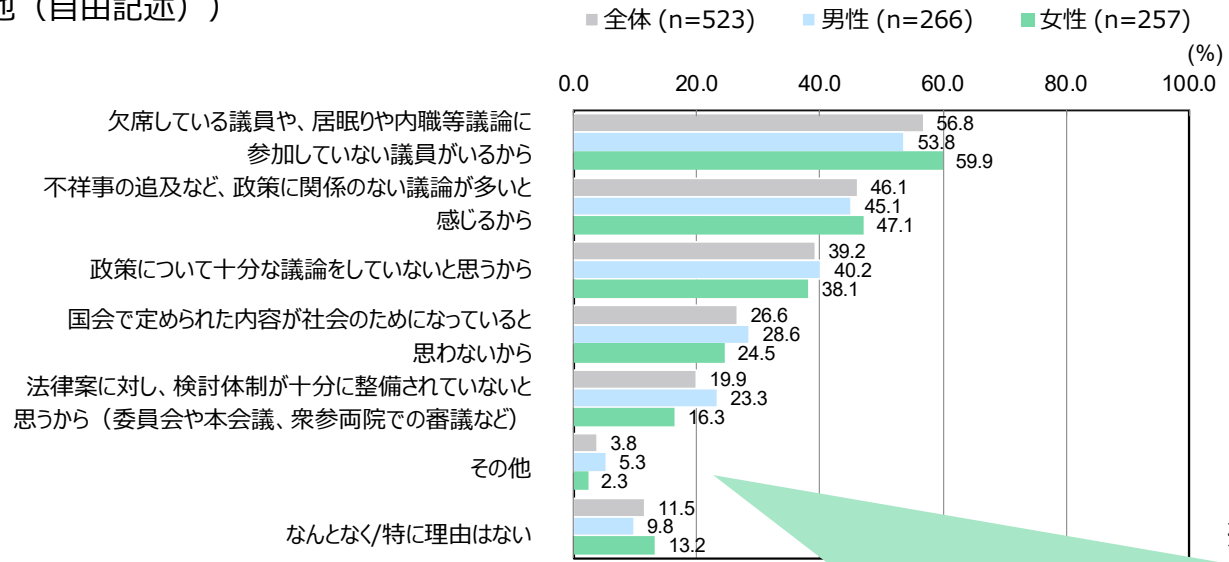


※「全体」の降順で掲載。

# 国会の現状に対する意見

現状の国会は、有意義な政策論議の場となっていると思わない理由として、「欠席している議員や、居眠りや内職等議論に参加していない議員がいるから」、「不祥事の追及など、政策に関係のない議論が多いと感じるから」という理由が上位に挙がった。

質問10-2：前問で「そう思わない」「どちらかというと思わない」と答えた理由を教えてください。（選択式/複数+その他（自由記述））



※「全体」の降順で掲載。

### 「その他」の自由記述

- しょうもない言い合いばかり
- まず国会に出てもない●●(※)というやつが不必要だと思う
- 一般人の意見も入れる
- 何も知らない
- 岸田さんが検討、検討と言いつつ行動に移してなく、かつ増税に国の借金も減らず

- に増えているから
- 議員の言葉で議論していないから
- 検討総理大臣
- 国会はただの朗読会であるようにしか見えない為。
- 自分たちに有利な政策に決まっていくから
- 寝ている議員がいるから
- 寝ている議員が多い、若者に対する制

- 作がなし、頭が固く、柔軟性がない
- 寝ている人がいるから
- 寝る議員が多い
- 政党毎の縛りによって議員それぞれの主張がほぼ変わらず、国会を開いたところであまり決定を左右しないため。
- 怒鳴ってばかり野次をしてばかり。小学校で行われる道徳授業のほうが有意義に行われている。

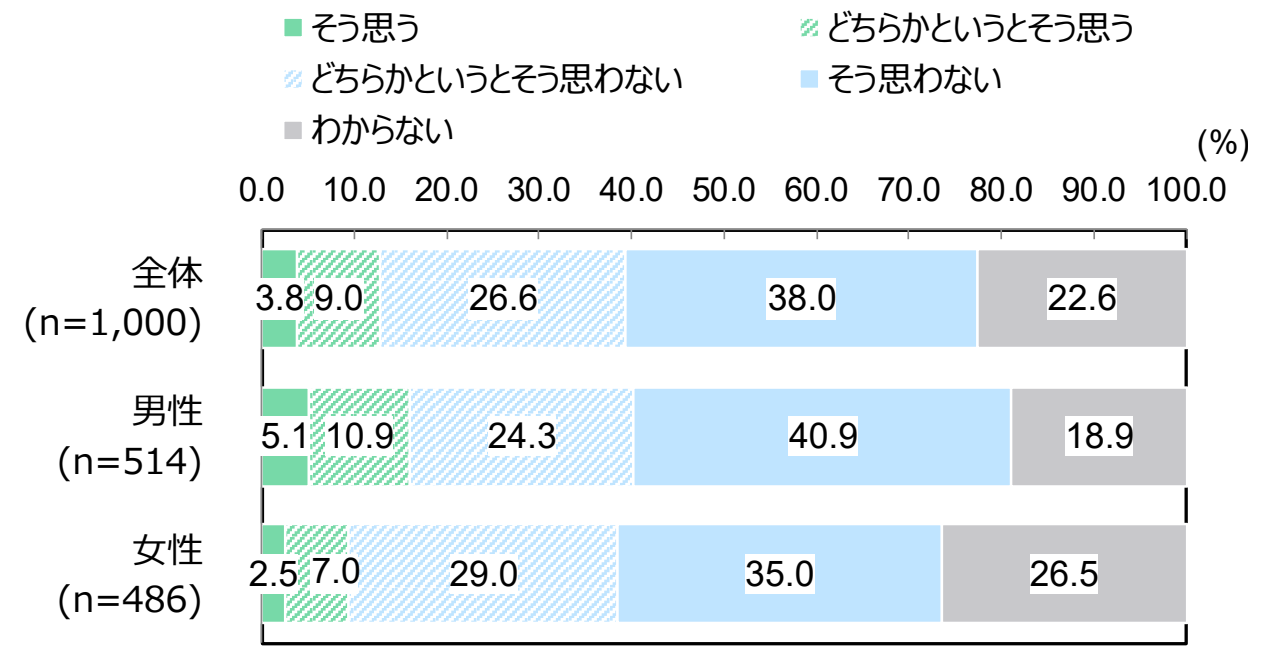
- 日本政治が終わってるから
- 必要ないヤジが多い
- 野党がとりあえずは与党を否定したいだけのように感じる
- 野党が訳の分からない質疑をするから●●(※) うつとうい

(※)は個人名のため伏字とした。

# 国会の現状に対する意見

現状の国会が、若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思わない者の割合（※）は、全体の65%であった。  
※「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計。

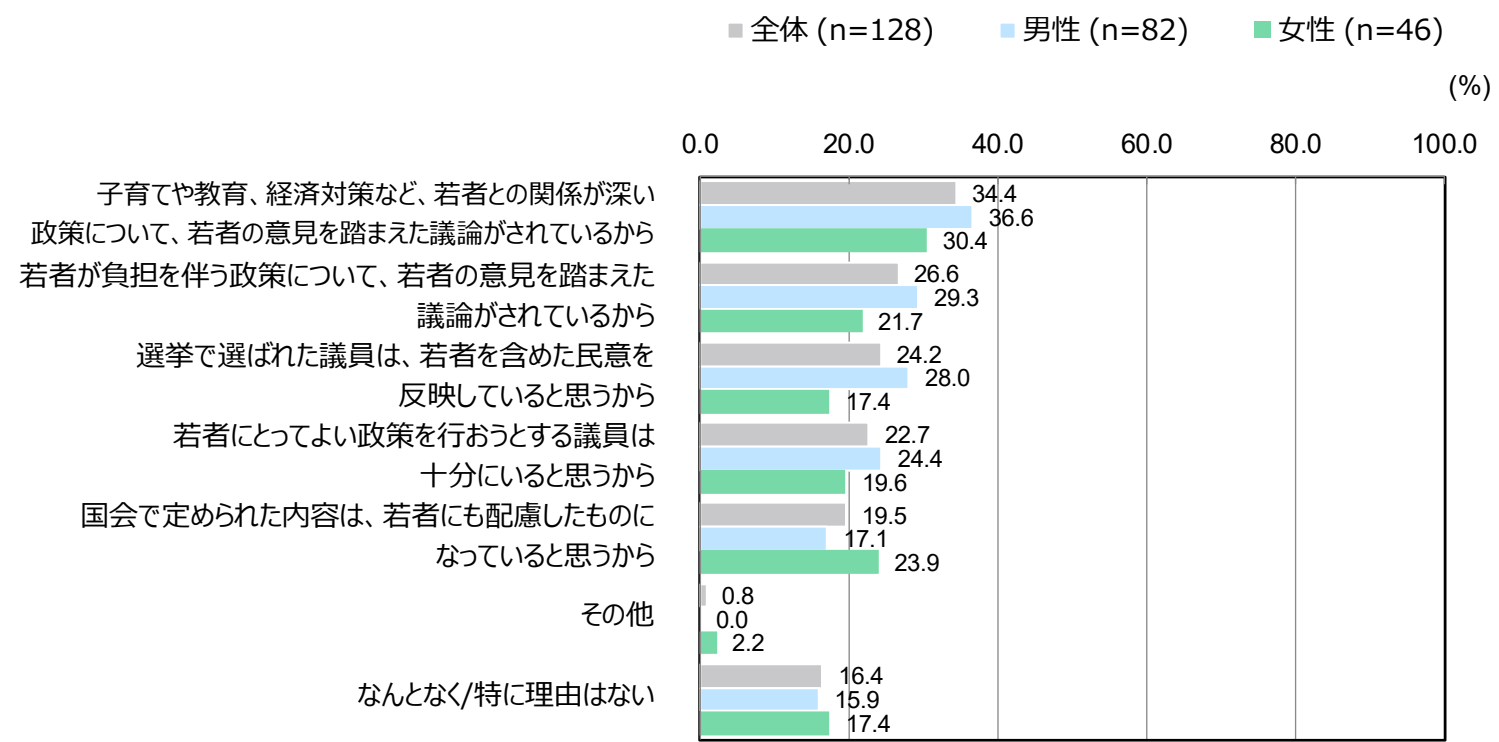
質問11：現状の国会は、若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思いますか。（選択式/単一）



# 国会の現状に対する意見

現状の国会が、若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思う理由として、「子育てや教育、経済対策など若者との関係が深い政策について、若者の意見を踏まえた議論がされているから」や「若者が負担を伴う政策について、若者の意見を踏まえた議論がされているから」が上位に挙がった。

質問12-1：前問で「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた理由を教えてください。（選択式/複数+その他（自由記述））



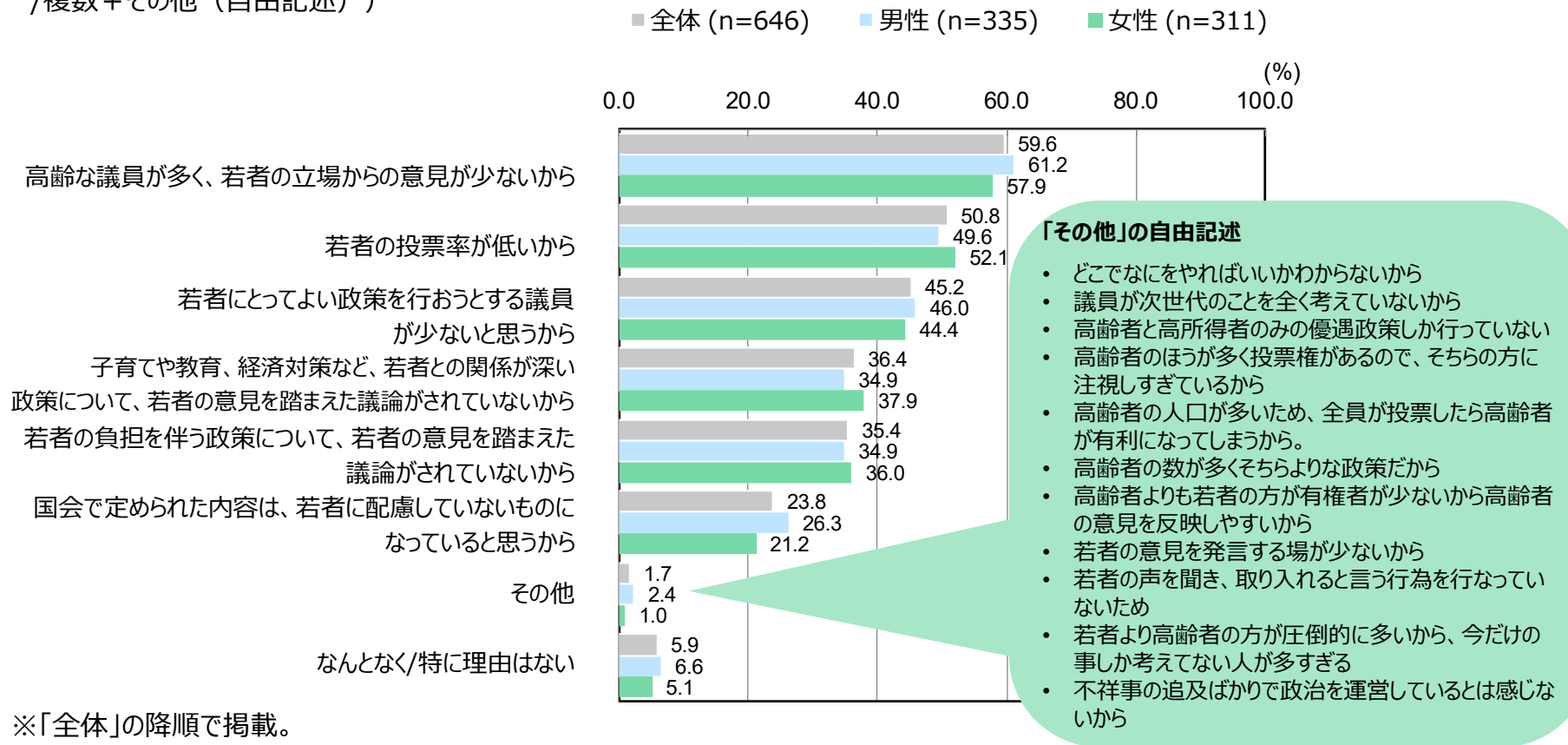
※「全体」の降順で掲載。



# 国会の現状に対する意見

現状の国会が、若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思わない理由として、「高齢な議員が多く、若者の立場からの意見が少ないから」、「若者の投票率が低いから」、「若者にとってよい政策を行おうとする議員が少ないと思うから」といった意見が多く挙がった。

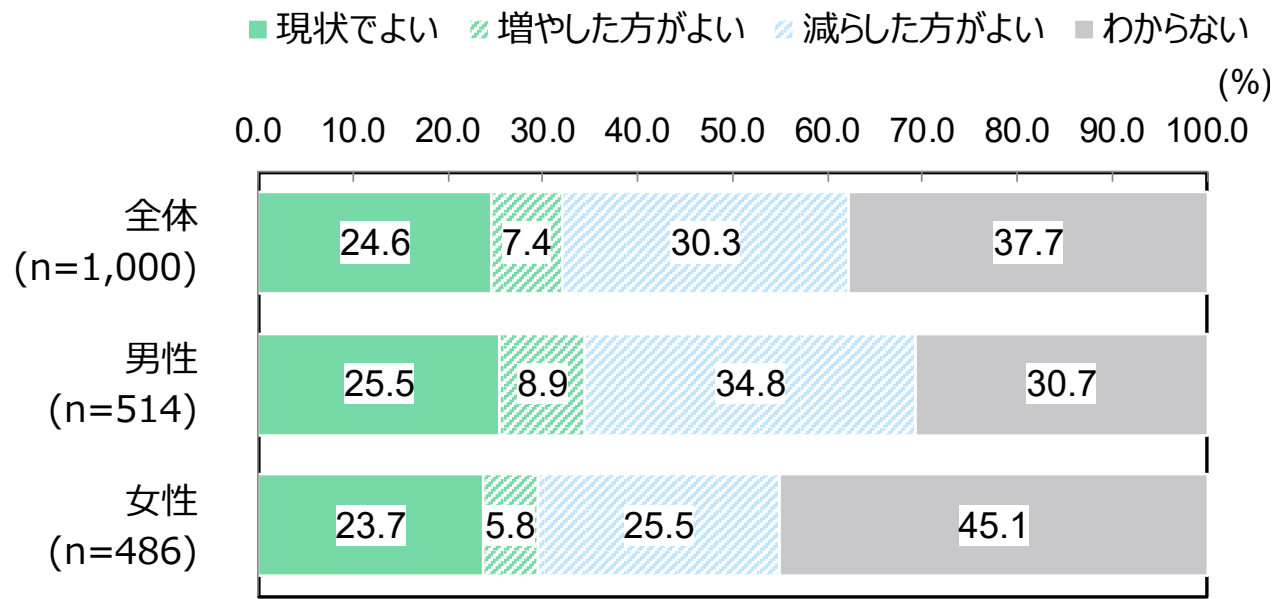
質問12-2：前問で「そう思わない」「どちらかというと思わない」と答えた理由を教えてください。（選択式/複数+その他（自由記述））



# 国会の現状に対する意見

国会議員の定数について、「わからない」という意見が最も多く、約4割であった。次に、「減らした方がよい」が約3割であった。

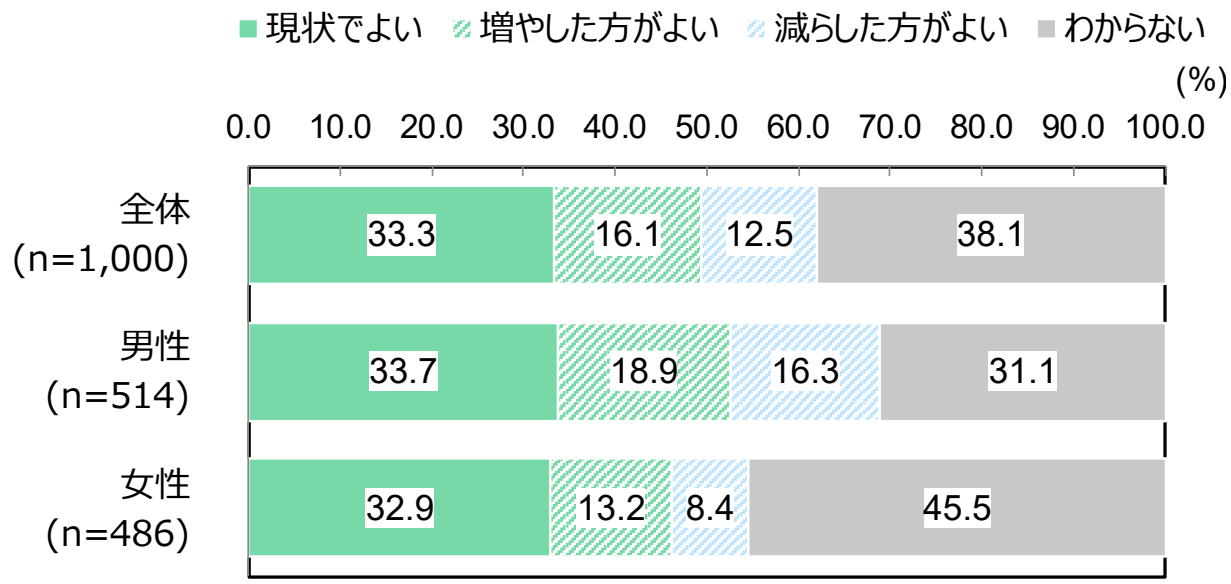
質問13：国会議員の定数は、衆議院議員が465人、参議院議員が248人です。あなたは、この人数についてどのように思いますか。（選択式/単一）



# 国会の現状に対する意見

国会の会期について、「わからない」という意見が最も多く、約4割であった。次に、「現状でよい」が約3割であった。

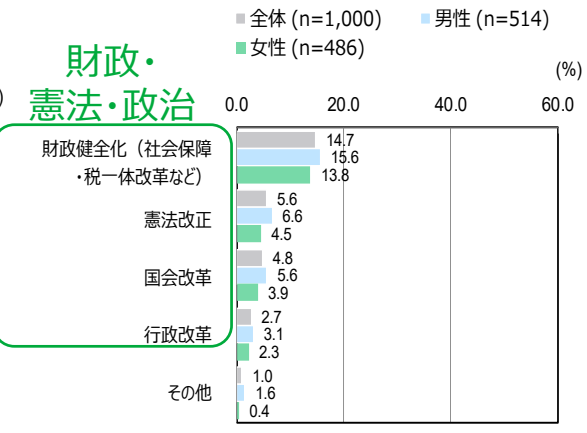
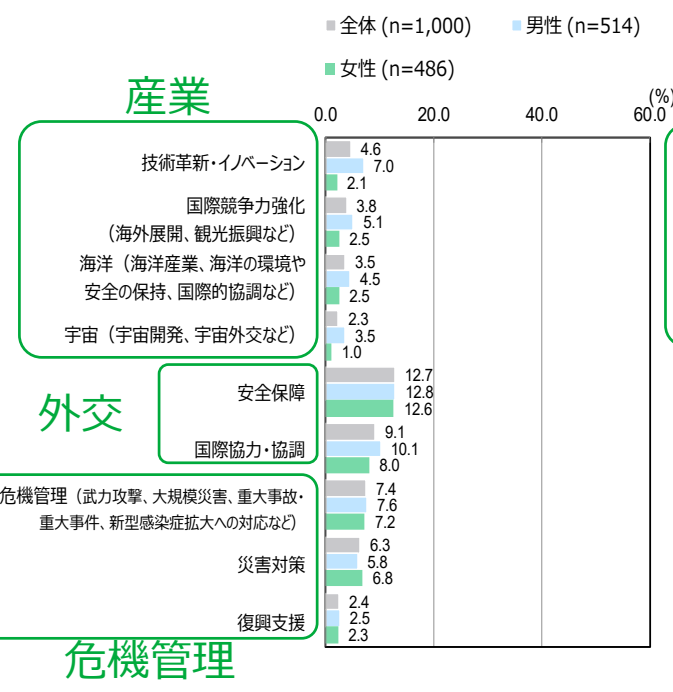
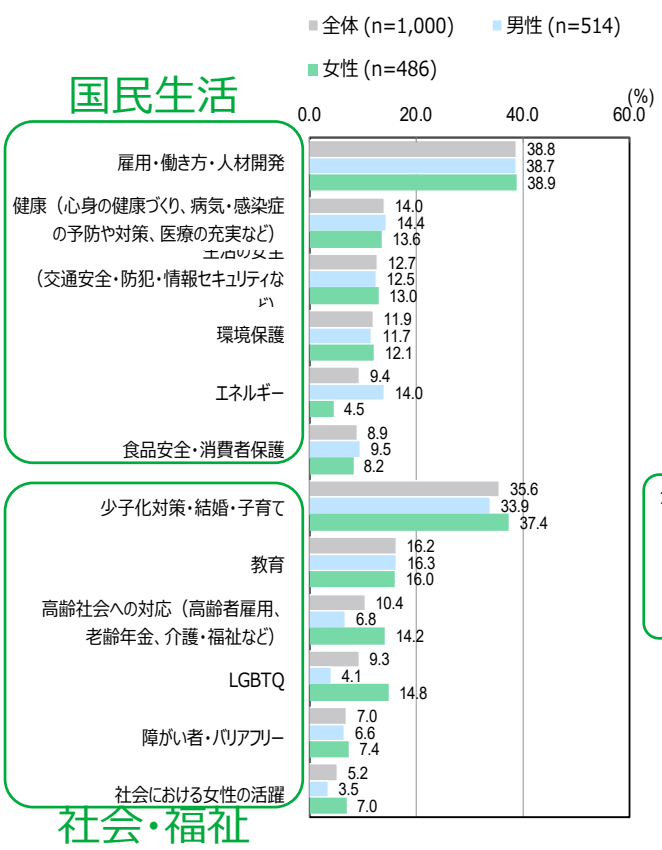
質問14：現在、国会の会期は、1月に招集される常会が150日間です。その他、緊急時など内閣が必要と認めた場合や、衆議院又は参議院どちらかの総議員の1/4以上の要求があった場合に、臨時会が開かれています。あなたは、国会の会期についてどのように思いますか。（選択式/単一）



# 国会の現状に対する意見

政策分野のうち、特に国会において議論されるべきだと思う分野として、「雇用・働き方・人材開発」、「少子化対策・結婚・子育て」、「教育」、「財政健全化」、「健康」が多く挙がった。

質問15：以下の政策分野のうち、特に国会において議論されるべきだと思う分野を3つまで選択してください。（選択式/3つまで）



## 社会・福祉

# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

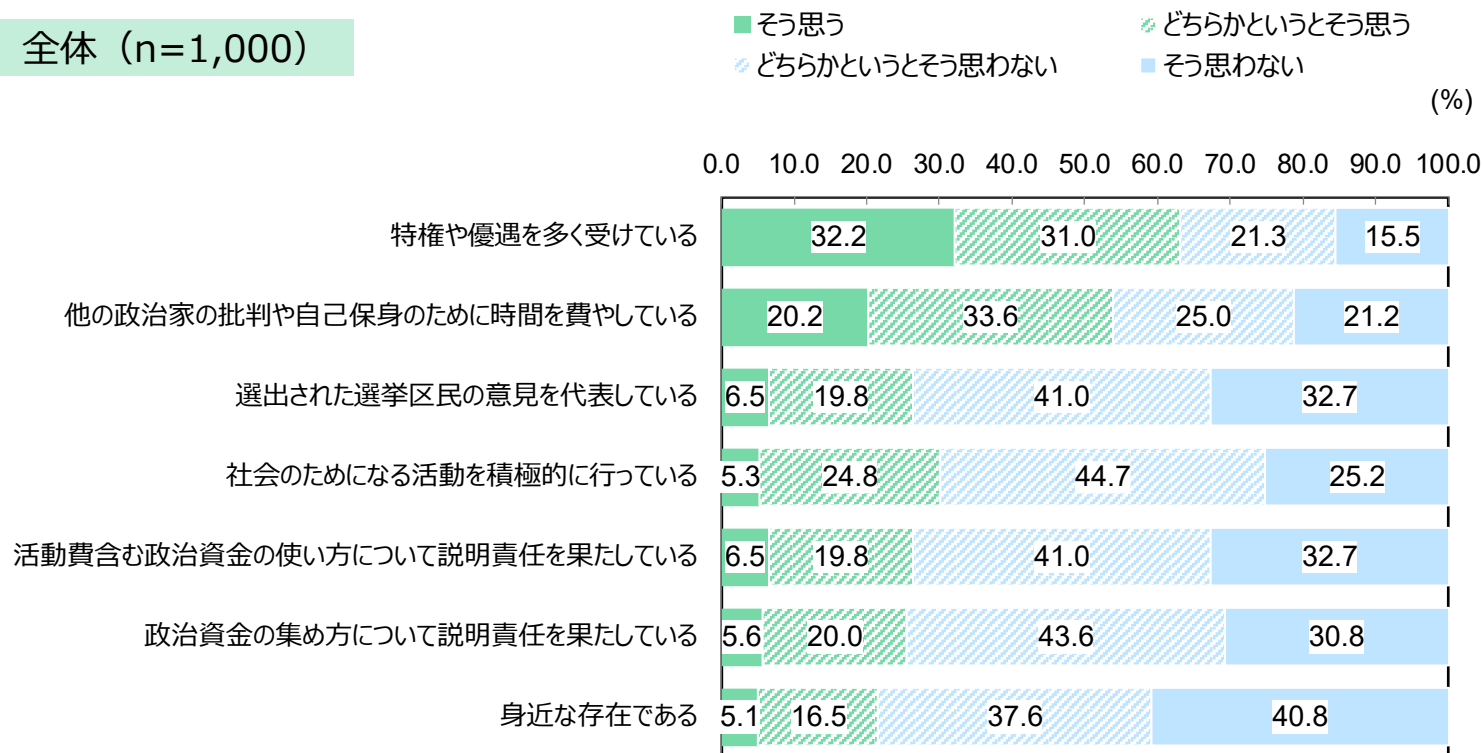
# 国会議員に対する意見

国会議員に対して「特権や優遇を多く受けている」や「他の政治家の批判や自己保身のために時間を費やしている」といった印象を持つと回答した割合は、5割から6割程度であった。

※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

全体 (n=1,000)



※「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計値の降順で掲載。

# 国会議員に対する意見

男性と女性において、国会議員に対する印象に大きな違いはない。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

男性 (n=514)

女性 (n=486)

■ そう思う  
 ▨ どちらかというと思う  
 ▩ どちらかというと思わない  
 □ そう思わない

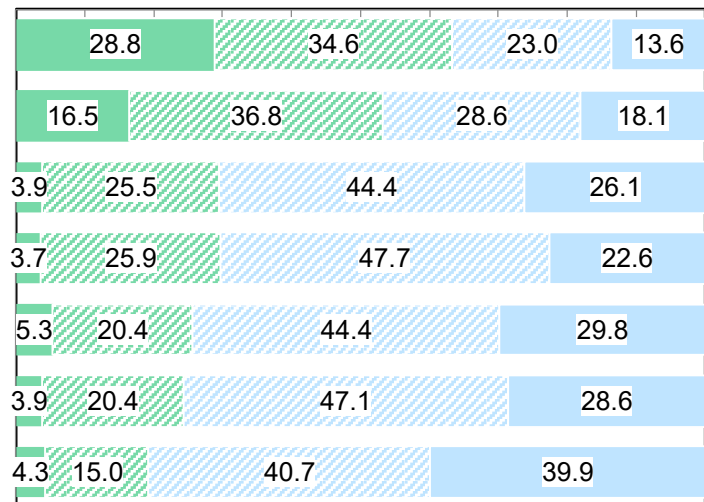
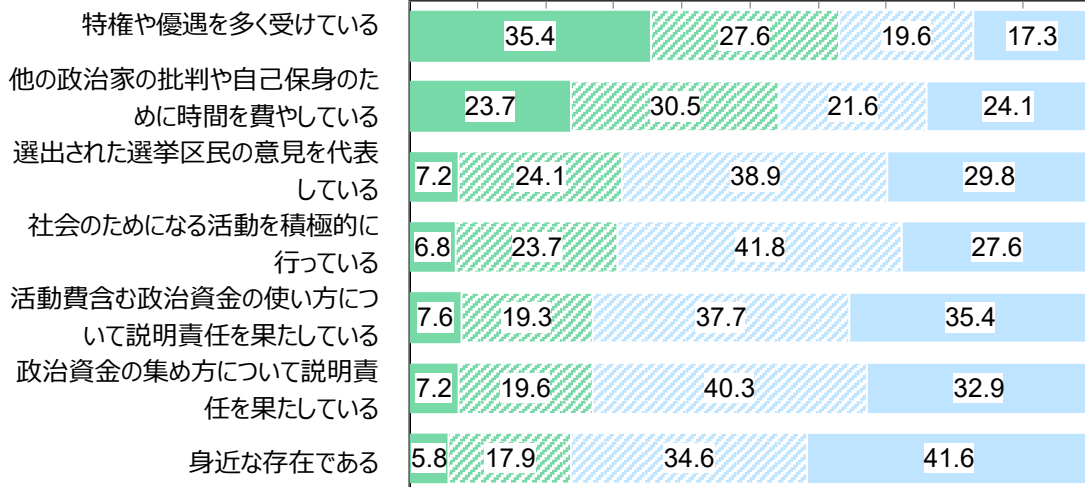
■ そう思う  
 ▨ どちらかというと思う  
 ▩ どちらかというと思わない  
 □ そう思わない

(%)

(%)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

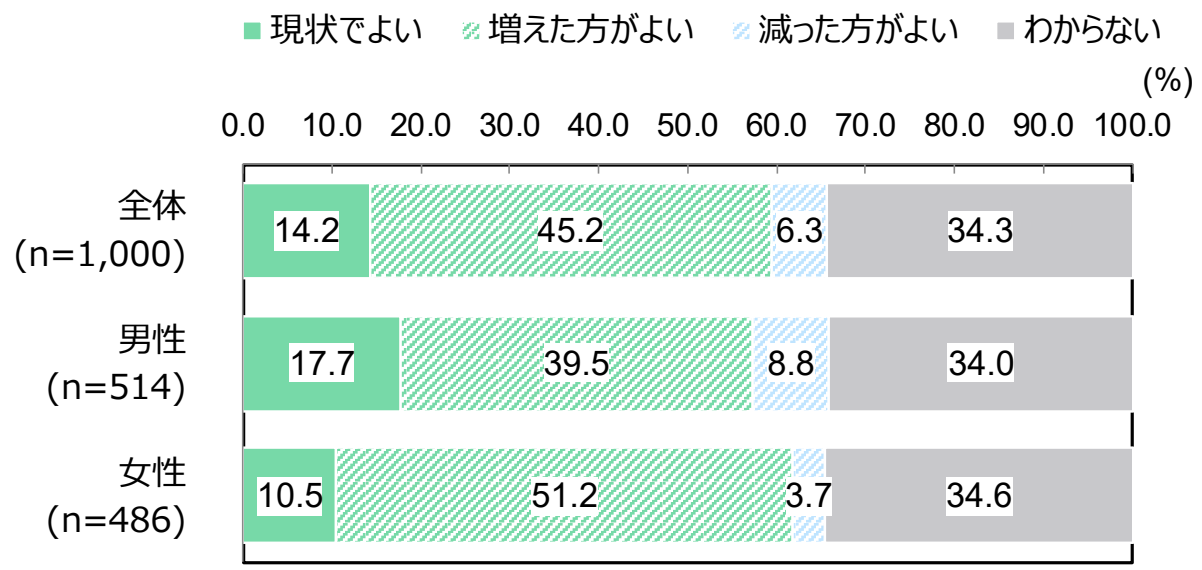


※ 全体の「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計値の降順で掲載。

# 国会議員に対する意見

国会における女性議員の比率について、「増えた方がよい」という回答が最も多かった。  
男性よりも女性の方が、「増えた方がよい」と回答した割合がやや高かった。

質問17：現在の国会における女性議員の比率は、参議院議員が25.8%、衆議院議員が9.9%です。  
あなたは、この数字をどう見ますか。（選択式/単一）※出所：参議院ホームページ（第210国会（臨時国会））、衆議院ホームページ（令和4年11月1日時点）

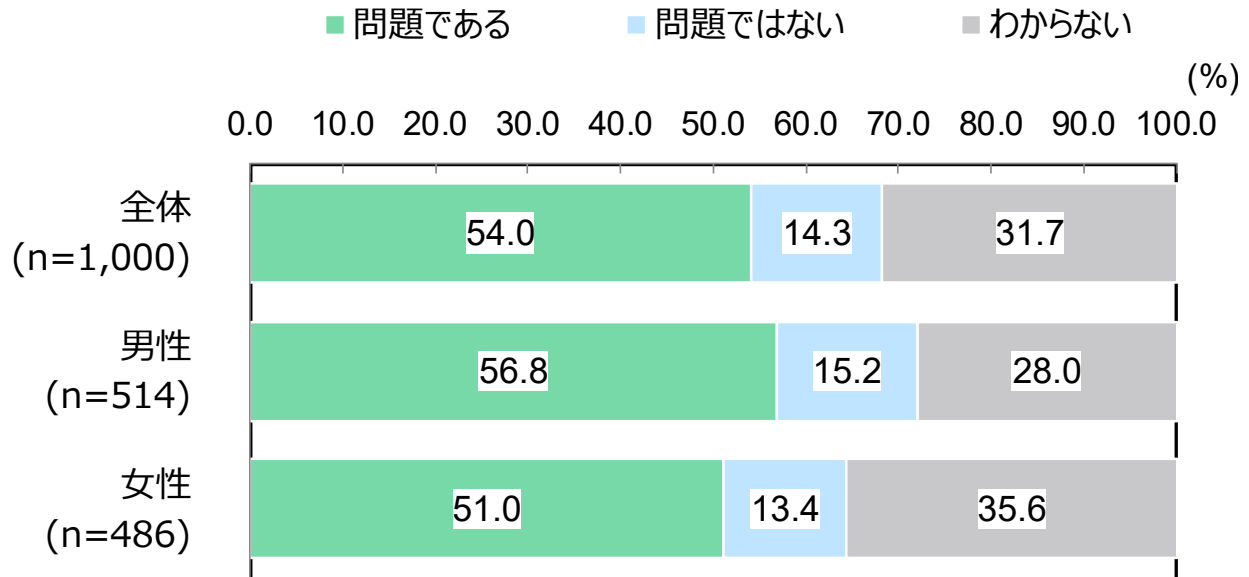




# 国会議員に対する意見

議員の高齢多選について、「問題である」と回答した割合は全体の約半数であった。

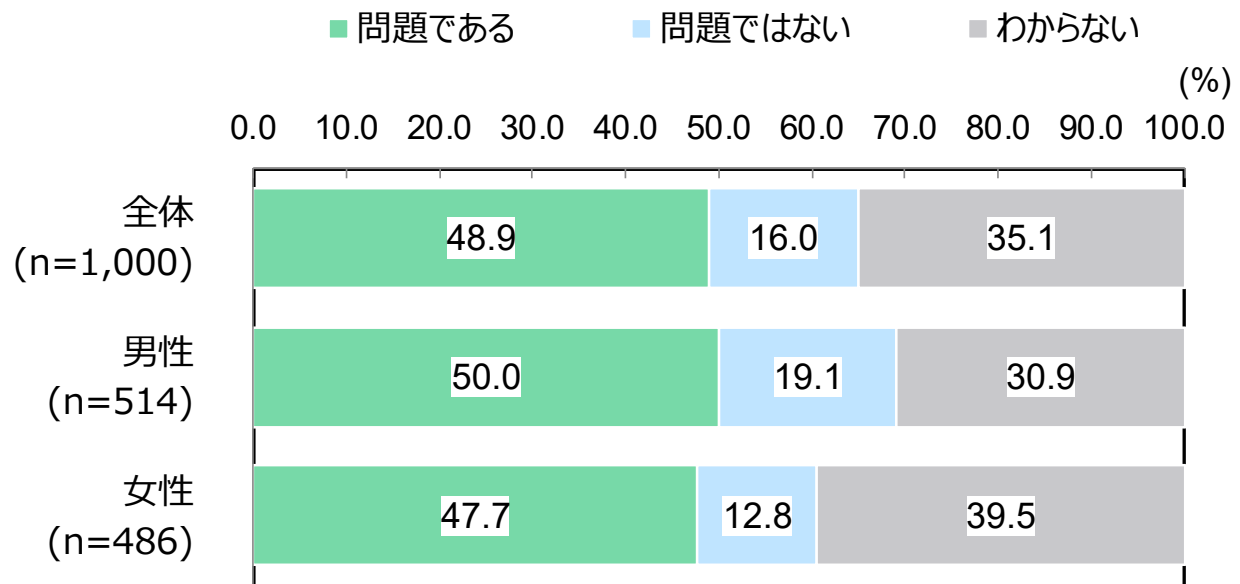
質問18：議員の高齢多選（同じ人が何度も当選して長期間在職し、高齢化する状況）についてどのように思いますか。（選択式/単一）



# 国会議員に対する意見

国会議員の世襲について、「問題である」と回答した割合は全体の約半数であった。

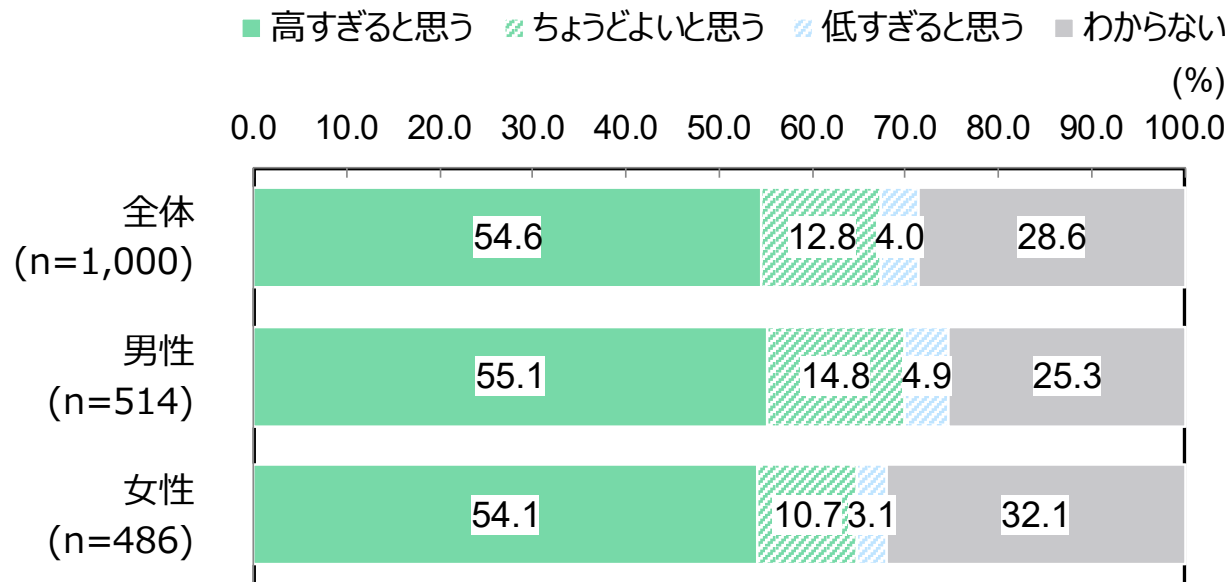
質問19：国会議員の世襲について、どのように思いますか。（選択式/単一）※この質問における世襲とは、親や親族が政治家で、その政治基盤（知名度や支援者など）や資金等を引き継ぎ、政治家になることを意味します。



# 国会議員に対する意見

全体の過半数が、国会議員の給与について「高すぎると思う」と回答した。

質問20：国会議員の給与（月額129万4千円、期末手当、旅費や調査研究広報滞在費などは含まない。）についてどのように思いますか。（選択式/単一）※出所：「国会議員の採否、旅費及び手当等に関する法律」（昭和22年法律第80号）



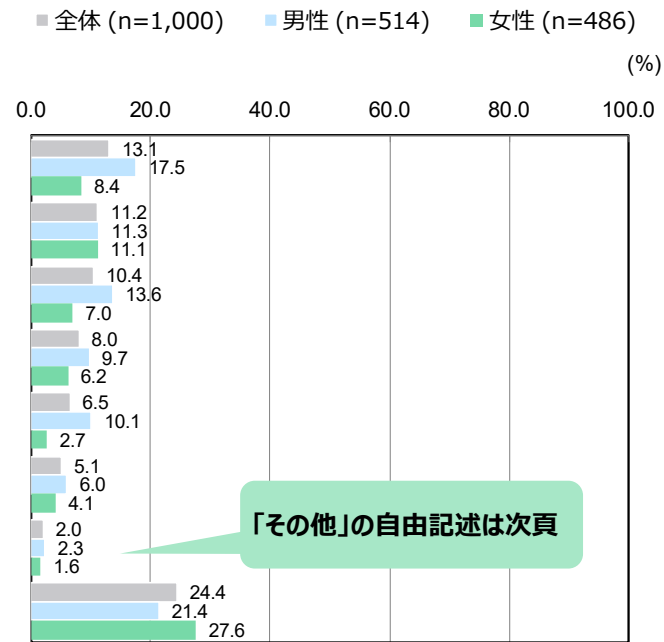
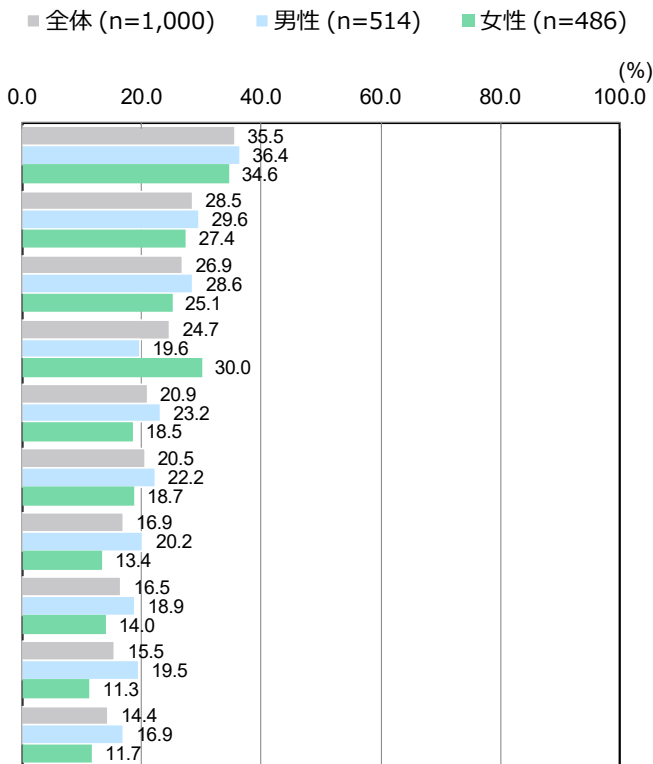
# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

# 政治・国会を改善する方法

国会をよりよく機能させる方法として、「より多くの若手議員の選出」、「インターネットなどにおいて、国民の意見を表明すること」、「投票率の上昇によって、国民の意見を表明すること」が挙げられ、国民の意見を表明すること、自身と近い世代の議員が参加することが重要であると考えている者が多い傾向にあった。

質問21：国会を現在よりもよく機能させるためには、何が重要だと思いますか。以下の中から重要であると思われるものを、いくつでも選択してください。（選択式/複数+その他（自由記述））



「その他」の自由記述は次頁

※「全体」の降順で掲載。

# 政治・国会を改善する方法

質問21：国会を現在よりもよく機能させるためには、何が必要だと思いますか。以下の中から重要であると考えられるものを、いくつでも選択してください。（選択式/複数+その他（自由記述））

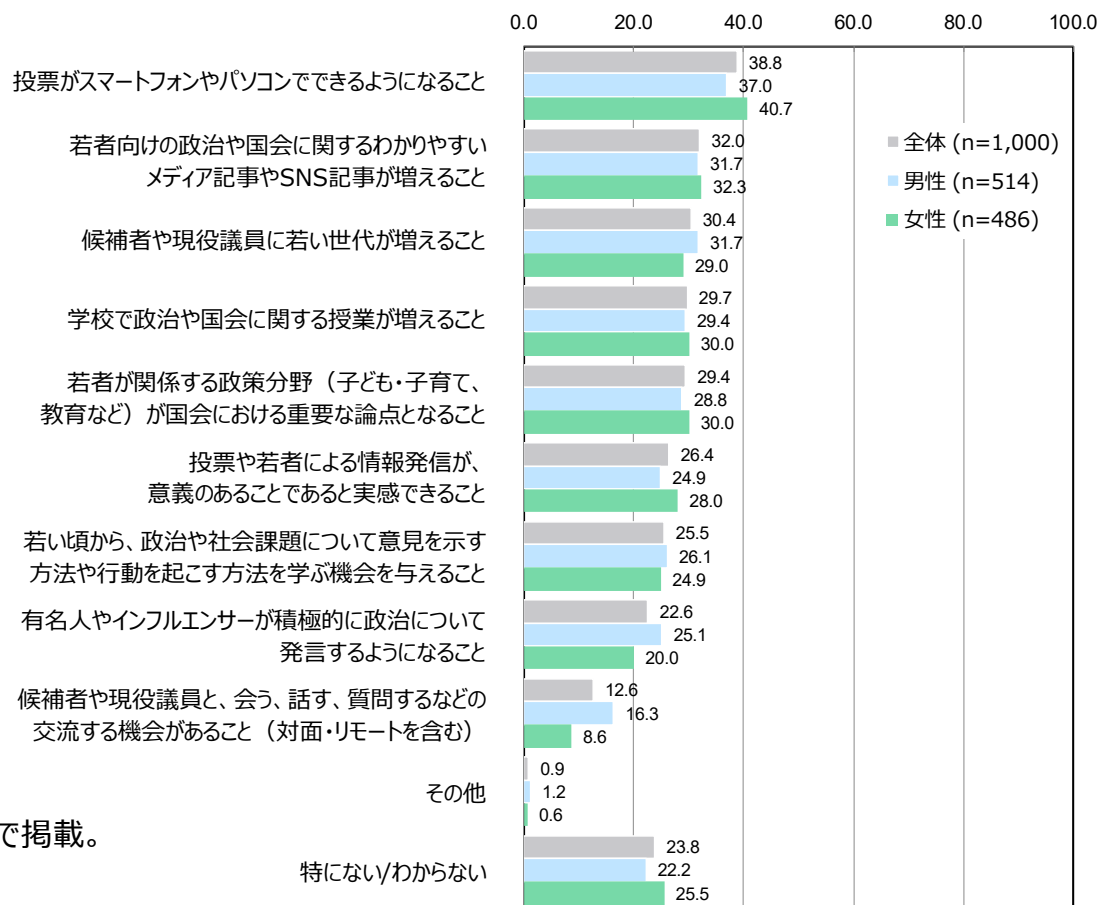
## 「その他」の自由記述

- 給料の削減
- 首相の公選制
- デモなどによる国民の積極的な政治参加
- 政治体制の見直し
- 国民の興味を引くような政治を行なって欲しい
- 国会の意味を理解する国会にいる意味を
- 国民からの不信任案
- 議員の定年制導入
- 優秀な人を上に立たせること
- NHKをぶっ壊す
- 国会議員の定年制度
- 馬鹿を減らす
- 政治家の給料をへらす
- 居眠り議員の給料減額
- 議員の給料を働きによって決めること
- 議員の質
- 国民に何が起きてるのか知らせること、色々透明化する
- ほんとにふさわしい人を選別し、国民の意見を取り入れた政治を行うこと
- 給料を減らし、国の予算を何に使っているか細かく知らせる
- 相手のことを批判するより政策のことについて議論してほしい

# 政治・国会を改善する方法

若者が政治や国会に関心を持つようになる方法として、「投票がスマートフォンやパソコンでできるようになること」や「若者向けの政治や国会に関するわかりやすいメディア記事やSNS記事が増えること」などが多く選ばれた。

質問22：どうすれば若い人たちが政治や国会に関心を持つと思いますか。以下の中から重要であると考えるものを、いくつでも選択してください。（選択式/複数+その他（自由記述）） (%)



※「全体」の降順で掲載。

# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

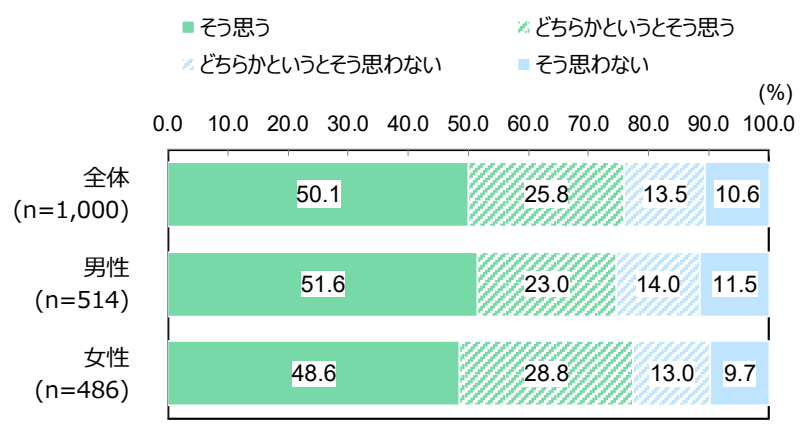


# 社会課題に対する意識・政治的自己効力感

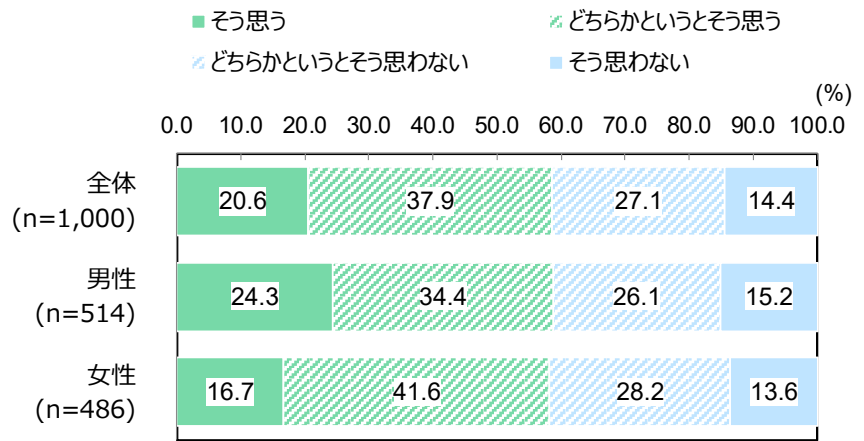
「日本社会には、解決すべき課題が多いと思う」と考えている割合（※）は、76%であった。  
 「政治や社会に関することについて、参加する方法を学ぶ機会はある」と考えている割合（※）は、59%であった。※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問23：政治や社会課題に関するあなたの考えに近いものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

「日本社会には、解決すべき課題が多いと思う」  
 （課題意識）



「政治や社会に関することについて、参加する方法を学ぶ機会はある」  
 （学習機会）



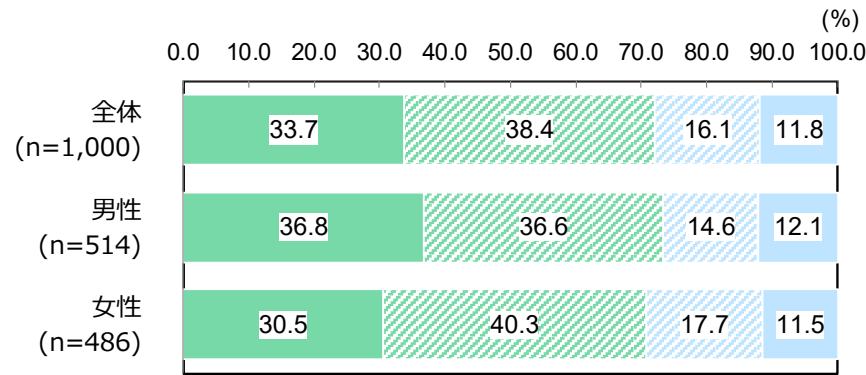
# 社会課題に対する意識・政治的自己効力感

「政治や社会に関することについて、自身の意見を示すことは重要である」と考えている割合（※）は、72%であった。「政治や社会に関することは、自分の行動次第で変えることができる」と考えている割合（※）は、49%であった。※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問23：政治や社会課題に関するあなたの考えに近いものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

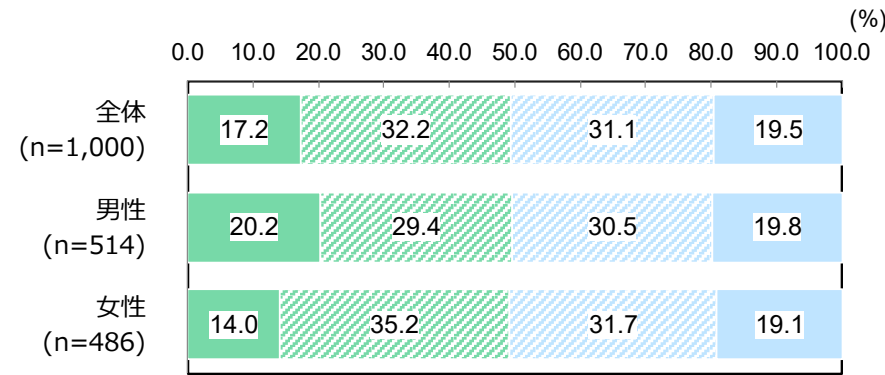
「政治や社会に関することについて、自身の意見を示すことは重要である」（意見効力感）

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない



「政治や社会に関することは、自分の行動次第で変えることができる」（行動効力感）

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない



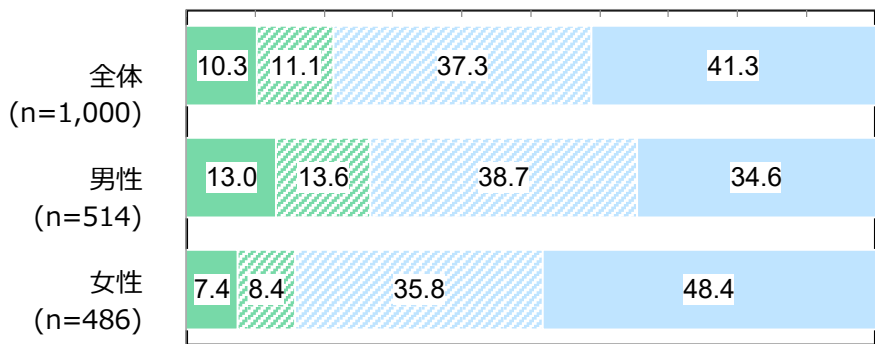
# 社会課題に対する意識・政治的自己効力感

「社会課題解決に向けた活動や政治的な意見を表明するための活動に参加する」経験を持つ者（※）は、21%、「社会課題解決に向けた活動や政治的な意見を表明するための活動を立ち上げたり、主導したりする」経験を持つ者（※）は、19%であった。※「1年以内に実施したことがある」、「1年よりも前に実施したことがある」の合計。

質問24：あなたの社会課題解決に向けた行動や経験についてお聞きします。以下の経験の有無について、あてはまるものを選んでください。（一つの項目について一つずつ選択）

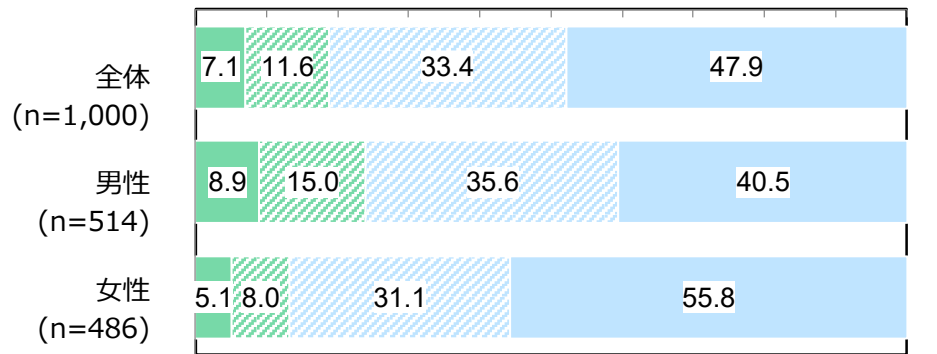
社会課題解決に向けた活動や政治的な意見を表明するための活動に参加する（活動経験）

■ 1年以内に実施したことがある  
 ▨ 1年よりも前に実施したことがある  
 ▩ 実施したことはないが、今後機会があれば実施したい  
 □ 実施したことはなく、これから先も実施するつもりはない (%)



社会課題解決に向けた活動や政治的な意見を表明するための活動を立ち上げたり、主導したりする（活動主導）

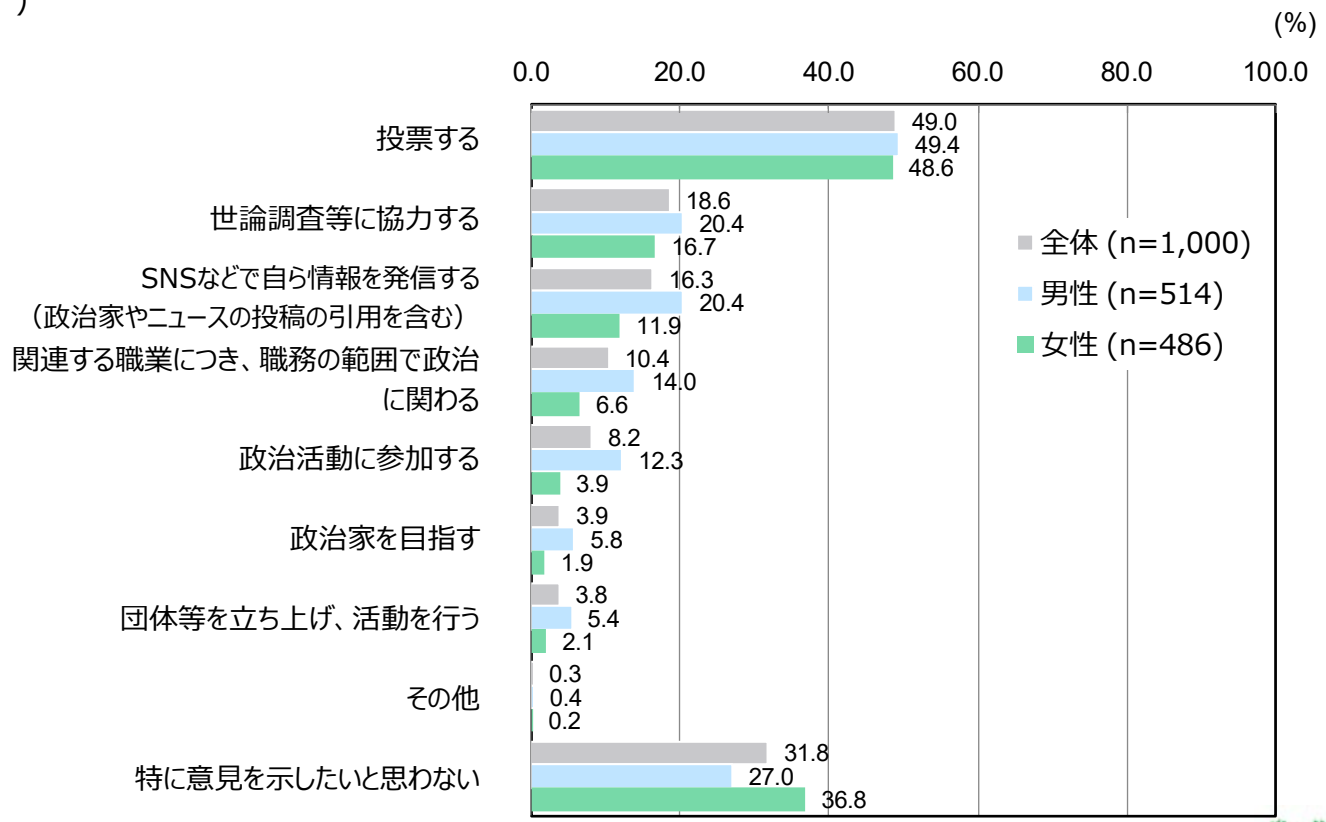
■ 1年以内に実施したことがある  
 ▨ 1年よりも前に実施したことがある  
 ▩ 実施したことはないが、今後機会があれば実施したい  
 □ 実施したことはなく、これから先も実施するつもりはない (%)



# 社会課題に対する意識・政治的自己効力感

自身の社会や政治に対する意見を、「投票する」という手段で示したい者は全体の約半数、「特に意見を示したいと思わない」者は全体の約3割であった。投票以外の意見を示す手段として、「世論調査等に協力する」、「SNSなどで自ら情報を発信する」が挙げられた。

質問25：あなたは、自身の社会や政治に対する意見をどのように示したいと思いますか。以下の手段からあなたがとりうる方法や実際に行ったことがある方法を、いくつでも選択してください。（選択式/複数+その他（自由記述））



※「全体」の降順で掲載。

# 詳細

1. 現在の政治・国会に対する関心・印象
2. 政治・国会に関する情報収集
3. 国会の現状に対する意見
4. 国会議員に対する意見
5. 政治・国会を改善する方法
6. 社会課題に対する意識や行動・政治的自己効力感
7. 回答者の政治や社会に関する属性によるクロス分析

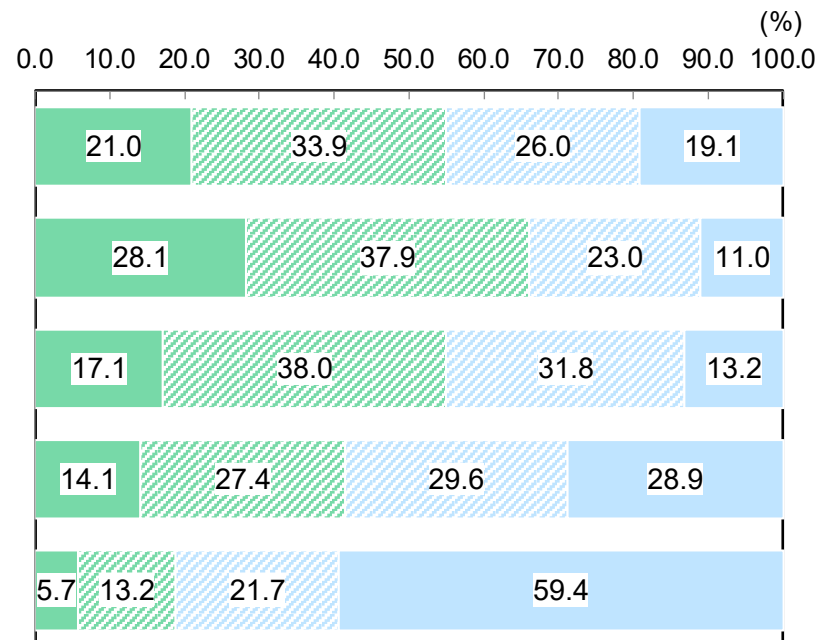
# 現在の政治・国会に対する関心・印象

日本社会について「課題意識」を持っている者ほど、全体と比較して日本の政治に「関心がある」又は「どちらかというに関心がある」と回答した者が多い傾向にある。

質問1：あなたは今の日本の政治について、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））

質問1の回答

- 関心がある
- ▨ どちらかというに関心がある
- ▨ どちらかというに関心がない
- 関心がない



課題意識の回答

どちらかというと思う  
(n=258)

どちらかというと思わない  
(n=135)

そう思わない  
(n=106)

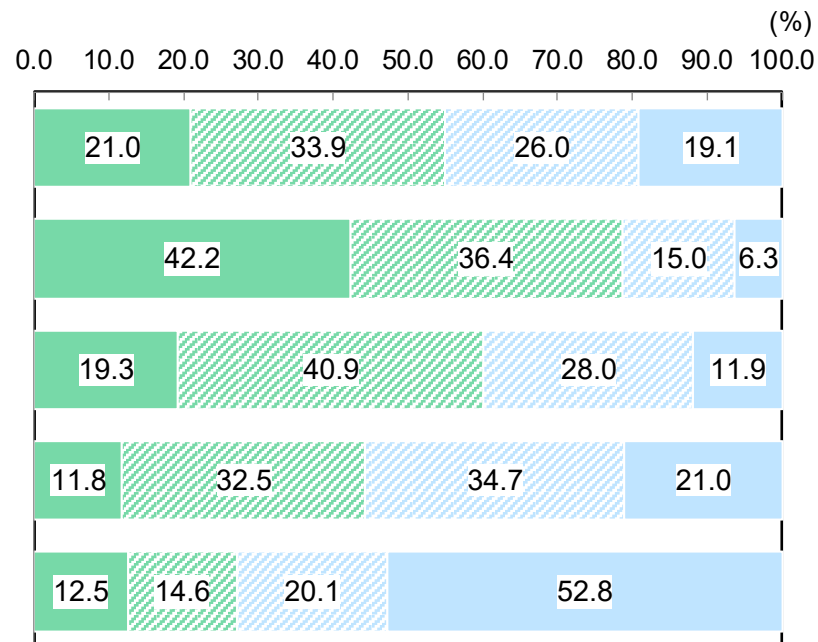
# 現在の政治・国会に対する関心・印象

政治や社会に参加する方法について「学習機会」があると思っている者ほど、日本の政治に「関心がある」又は「どちらかというに関心がある」と回答した者が多い傾向にある。

質問1：あなたは今の日本の政治について、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））

## 質問1の回答

- 関心がある
- ▨ どちらかというに関心がある
- ▨ どちらかというに関心がない
- 関心がない



## 学習機会の回答

どちらかというと思う  
(n=379)

どちらかというと思わない  
(n=271)

そう思わない  
(n=144)

# 現在の政治・国会に対する関心・印象

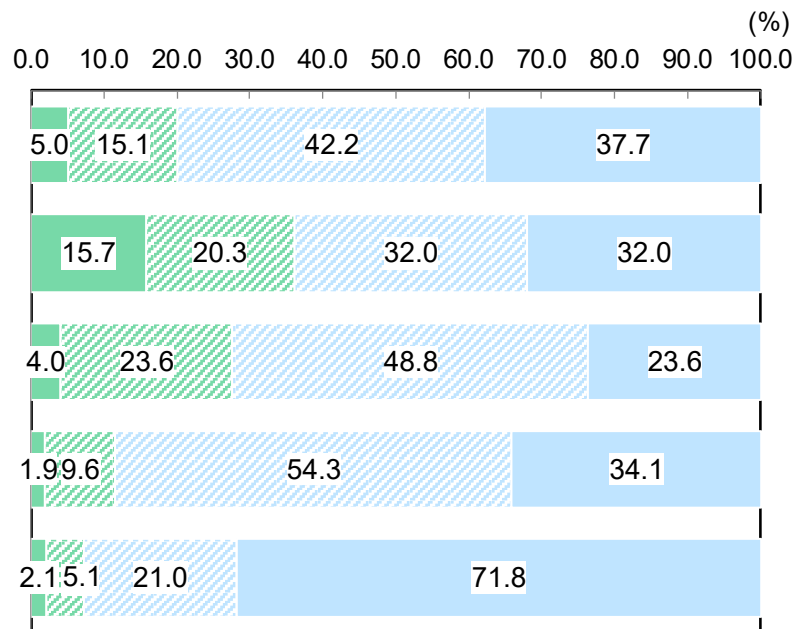
政治や社会について「行動効力感」を持っている者ほど、日本の政治に「期待ができる」という印象を持っている（※）と回答する傾向にあった。

※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問3：あなたは、今の日本の政治について、どのような印象を持っていますか。以下の中からそれぞれあてはまるものを選んでください。【期待ができる】（一つ選択）

質問3の回答

■ そう思う  
 ● どちらかというと思う  
 ▨ どちらかというと思わない  
 ■ そう思わない



行動効力感  
の回答



# 現在の政治・国会に対する関心・印象

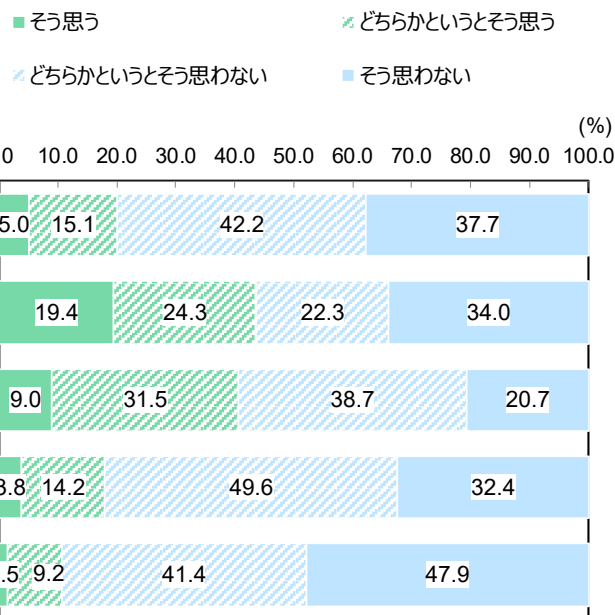
社会課題解決や政治意見の表明に向けた「活動経験」や「活動主導」のある者（※1）は、日本の政治に「期待ができる」という印象を持っている割合（※2）が高い傾向にある。

※1 「活動経験」と「活動主導」にて「1年以内に実施したことがある」、「1年よりも前に実施したことがある」の合計。※2 質問3にて「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問3：あなたは、今の日本の政治について、どのような印象を持っていますか。以下の中からそれぞれあてはまるものを選んでください。【期待ができる】（一つ選択）

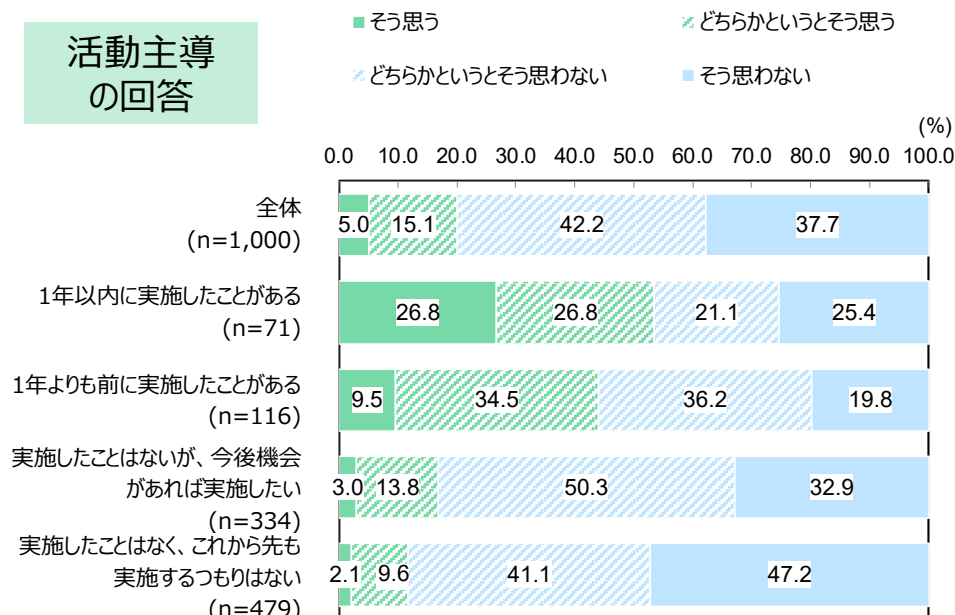
質問3の回答

## 活動経験 の回答



質問3の回答

## 活動主導 の回答



# 国会の現状に対する意見

政治や社会について「意見効力感」を持っている者は、現状の国会は、有意義な政策論議の場になっていると思うと回答した割合（※）が高い傾向にある。

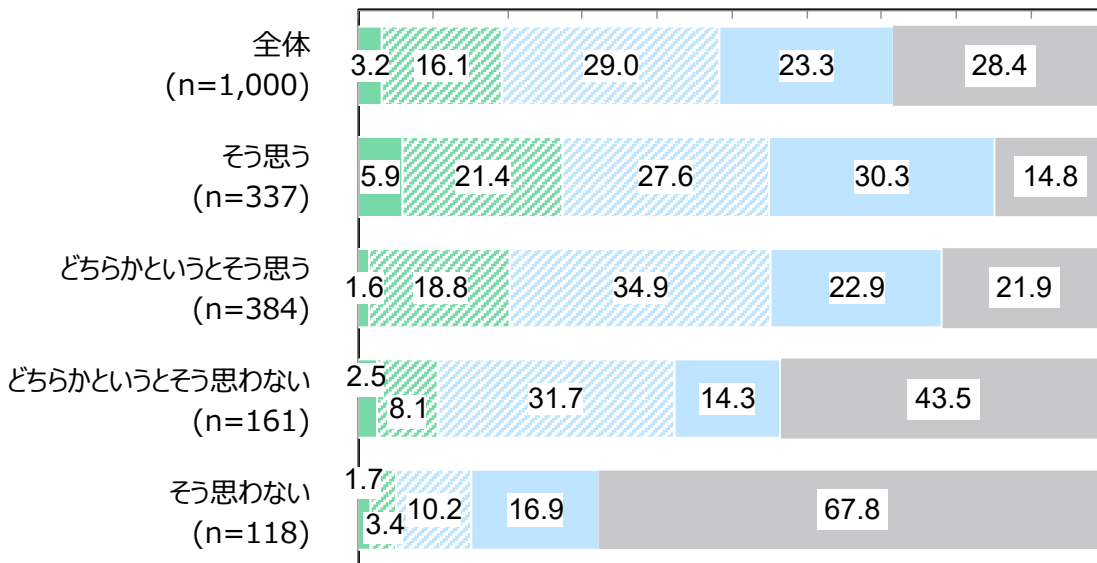
※ 「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計。

質問9：現状の国会は、有意義な政策論議の場となっていると思いますか。（選択式/単一）

質問9の回答

- そう思う
- どちらかというと思わない
- わからない
- どちらかというと思う
- そう思わない

(%)  
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



意見効力感  
の回答

# 国会の現状に対する意見

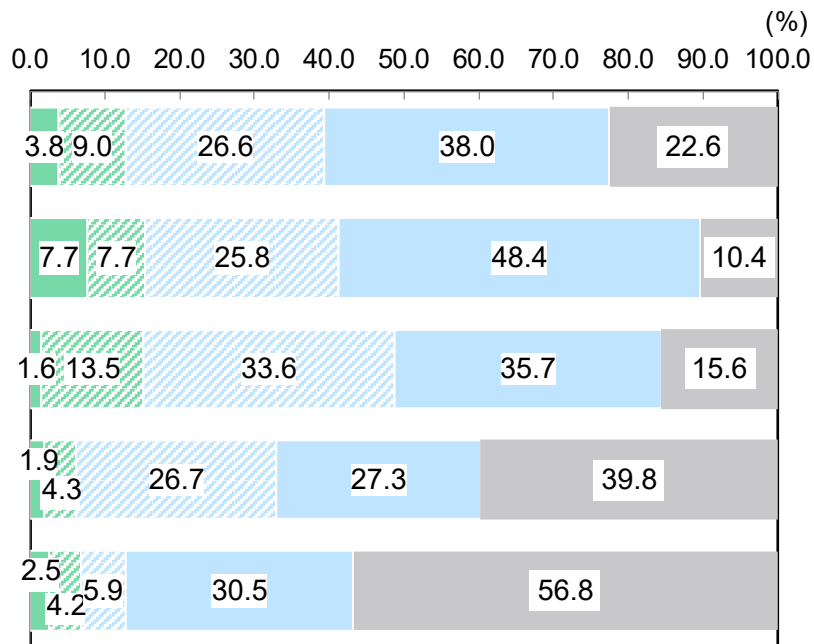
政治や社会について「意見効力感」を持っている者は、現状の国会は、若者の意見が取り入れられやすい場になっていると思うと回答した割合（※）が高い傾向にある。

※ 質問11にて「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問11：現状の国会は、若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思いますか。（選択式/単一）

質問11の回答

- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない



意見効力感  
の回答

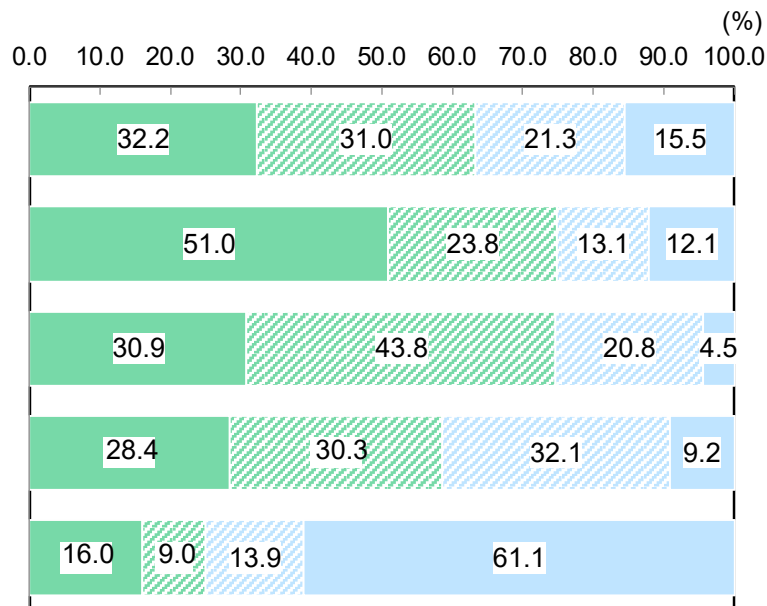
# 国会議員に対する意見

政治や社会に参加する方法について「学習機会」があると思っている者の方が、国会議員に対し、「待遇や優遇を多く受けている」という印象を持っている<sup>(※)</sup>と回答する傾向にあった。※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。[待遇や優遇を多く受けている]（一つ選択）

質問16の回答

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない



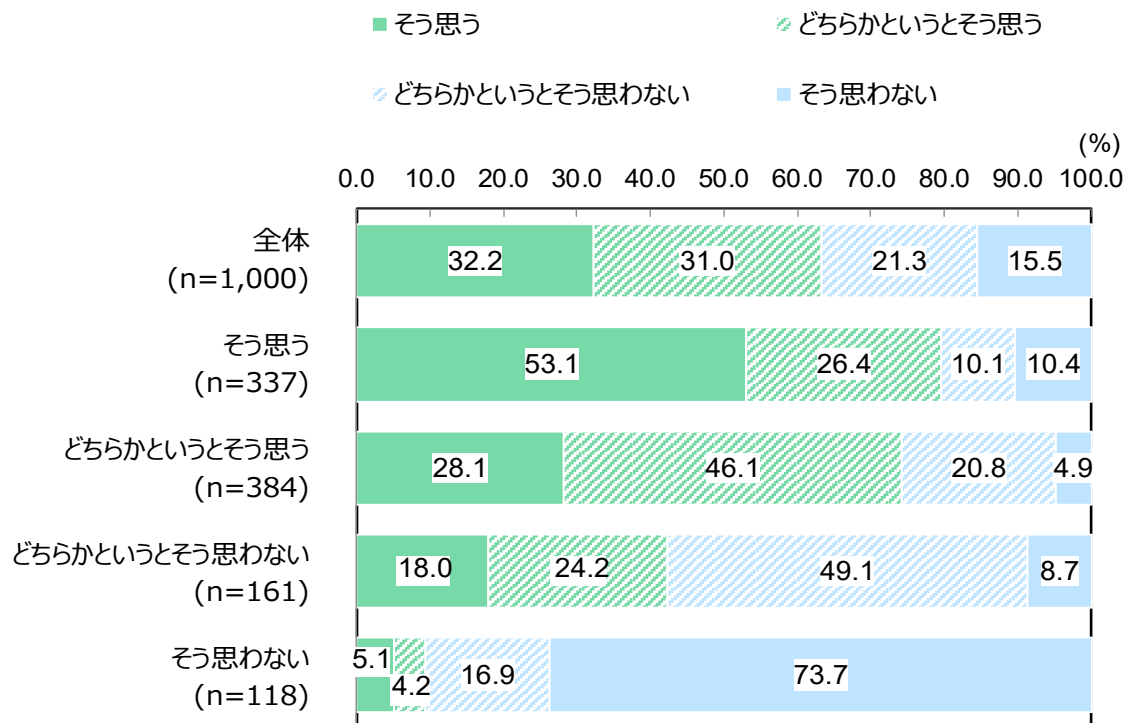
学習機会  
の回答

# 国会議員に対する意見

政治や社会について「意見効力感」を持っている者ほど、国会議員に対し「待遇や優遇を多く受けている」という印象を持っている（※）と回答した傾向にあった。※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。[待遇や優遇を多く受けている]（一つ選択）

質問16の回答



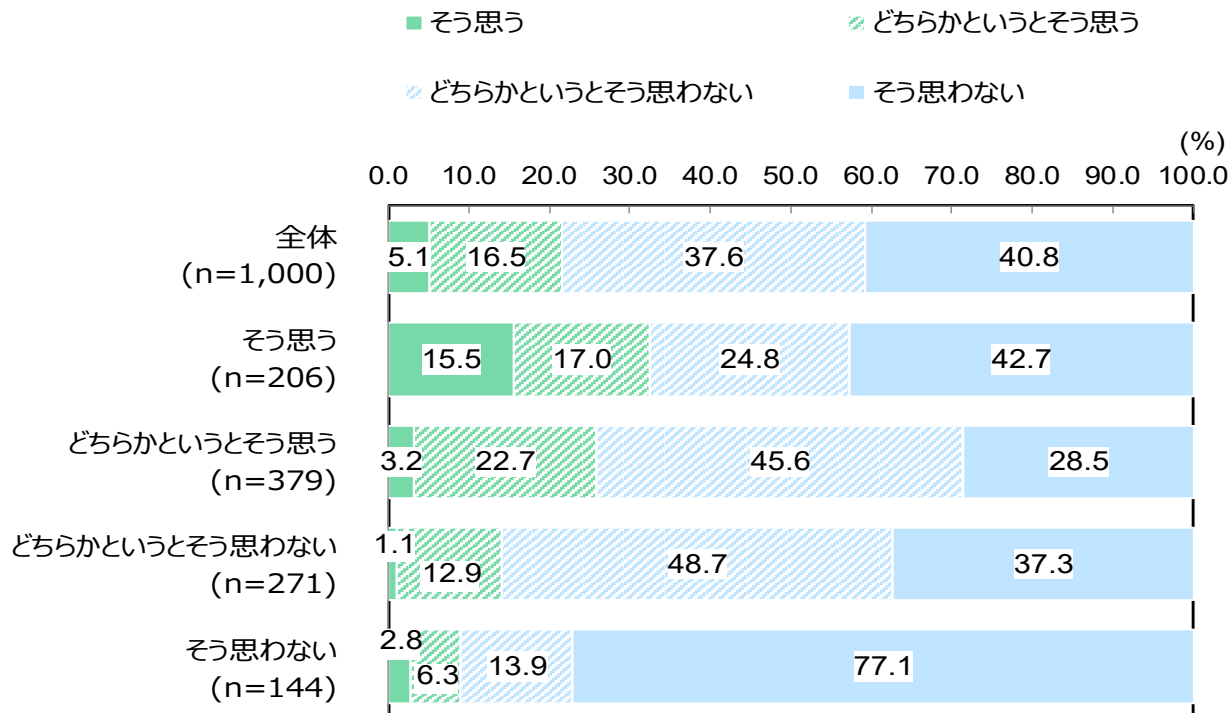
意見効力感  
の回答

# 国会議員に対する意見

政治や社会に参加する方法について「学習機会」があると思っている者の方が、国会議員が「身近な存在である」という印象を持っている（※）と回答する傾向にあった。 ※「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。[身近な存在である]（一つ選択）

質問16の回答



学習機会  
の回答

# 国会議員に対する意見

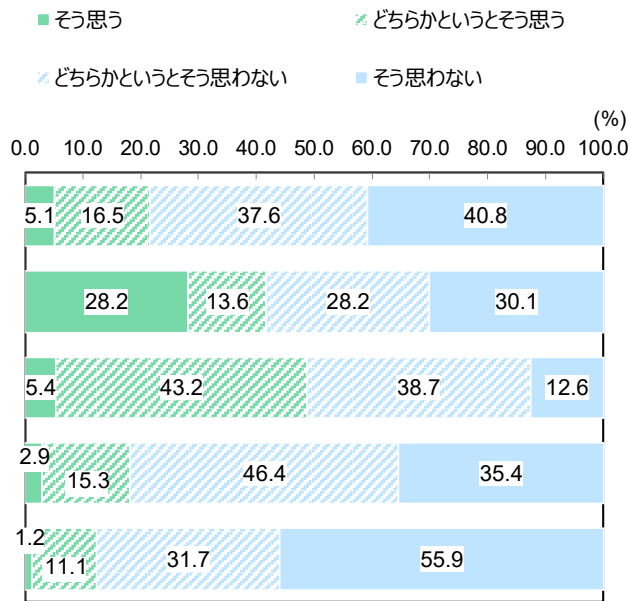
社会課題解決や政治意見の表明に向けた「活動経験」や「活動主導」(※1)のある者は、国会議員に対し、「身近な存在である」という印象を持つ割合(※2)が高い傾向にあった。

※1 「活動経験」と「活動主導」にて「1年以内に実施したことがある」、「1年よりも前に実施したことがある」の合計。 ※2 質問16にて「そう思う」「どちらかというと思う」の合計。

質問16：あなたは、今の日本の国会議員に対してどのような印象を持っていますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。[身近な存在である] (一つ選択)

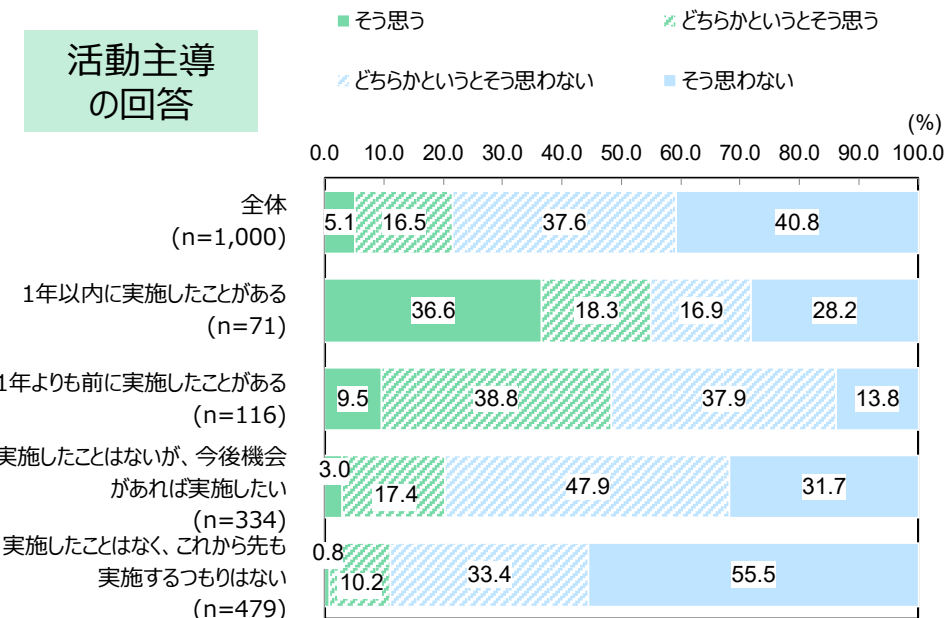
質問16の回答

活動経験  
の回答



質問16の回答

活動主導  
の回答



# 第54回18歳意識調査

## 「国会と政治家」

### 示唆



#### 若者の政治に対する関心の高さと評価の低さ

政治について、関心があると回答した者は過半数である。一方で、国会や政党を信頼していないと回答した者も全体の過半数を占めている。国会が若者の意見が取り入れられやすい場となっていると思わない者は全体の65%であった。

国会の場において、若者の意見が反映されていると考えている若者は少なく、若者への信頼獲得に向けた取組が必要であると考えられる。



#### 若者の立場に近い政治家の存在

国会をよりよく機能させる方法として、「より多くの若手議員の選出」や「投票率の上昇によって国民の意見を表明すること」が挙げられた。

若者の立場に理解のある政治家、国民の意見を反映している政治家が現れることが期待されていると考えられる。



#### 政治参加方法・情報発信方法の拡充

若者の政治への関心を高める方法として、投票のオンライン化や若者向けの政治や国会に関する記事の増加、学校で政治や国会に関する授業が増えることが挙げられた。

学校やオンライン上で政治について知る機会を増やすことや、政治に参加する方法を拡充することにより、若者の政治に対する関心や、政治への参加意欲が高まると考えられる。



#### 政治・社会に対する意識の高さが意見や行動につながる

男性よりも女性の方が、政治に関心があると回答した割合が高く、「国会が有意義な政策の場になっているか」という質問に対し、「わからない」という回答が少なかった。日本社会について「課題意識」を持っている者の方が、政治に対し関心があると回答した。

政治に対して関心が高い者や、社会課題に対する意識の高い者の方が、政治について自身の意見を持つ傾向にあると考えられるため、政治や社会課題について学ぶ機会を与えることが重要。